

HP Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン: 9.10

スタートアップガイド

ドキュメントリリース日: 2010年9月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2010年9月 (英語版)



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付属する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 1997-2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Intel®, Intel® Itanium®, Intel® Xeon®, および Pentium® は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows® XP, および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle® は、Oracle Corporation とその子会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最近更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細については、HPの営業担当にお問い合わせください。

バージョン番号が9.10である理由

PPM Centerは、HP BTO Operationsバージョン9ポートフォリオに組み込まれています。このバージョン番号を使用するのは、PPM Centerのバージョンと、同時期にリリースされる他の製品のバージョンを揃えるためです。PPM Center 9.10はPPM Center 8.0xをベースとしており、このバージョンの製品ファミリーを拡張した製品となっています。HP BTO Operationsバージョン9ポートフォリオ内でリリースされる製品では、共有のテクノロジー、共通のプラットフォーム、統合、ソリューション、アップグレードツール、プロフェッショナルサービスが提供されます。

サポート

次のHPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

<http://support.openview.hp.com/>

HPソフトウェアサポートオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートWebサイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。

アクセスレベルに関する詳細は、次のWebサイトを参照してください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP PassportのIDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

目次

1	はじめに	9
	HP Project and Portfolio Management Centerの概要	9
	PPMのWebページ	10
	PPM Centerのコンポーネント	11
	PPM Dashboardのページ	11
	PPM Dashboardのページのタイプ	12
	ポータルレット	13
	PPM Workbench	15
	製品情報とオンラインマニュアルの表示	16
	文書へのアクセス	16
	バージョンとユーザアクセス情報の表示	17
2	Webページの使用	19
	PPM Centerへのログオンとログオフ	19
	PPM Centerへのログオン	20
	PPM Centerからのログオフ	22
	PPM Centerのメニューバー	23
	リクエスト、パッケージ、その他のエンティティの作成	23
	リクエスト、パッケージ、その他のエンティティの検索	26
	新規検索の実行	26
	カスタマイズ検索の定義	26
	検索の保存	29
	保存済み検索の実行	31
	保存済み検索の管理	31
	保存済み検索のカテゴリの管理	33
	リクエストの検索(タイプ別)	35
	レポートの実行	37
	新規レポートの実行	38

既存のレポートの表示	39
設定の変更	40
パスワードの変更	40
警告メッセージ表示の設定	41
ポートレットの最大ビューの設定	42
作業計画ページの表示の設定	43
コスト表示の設定	43
地域設定	44
PPM Dashboardの使用	45
PPM Dashboardのページの表示	45
ポートレットビューの設定	46
リストポートレットのデータの並べ替え	48
ポートレットからのドリルダウン	50
[マイリンク] リストの保守	52
[マイリンク] リストへのページの追加	52
[マイリンク] リストからのページの削除	53
Excel スプレッドシートへのデータのエクスポート	53
エクスポートしたデータの変換	54
Microsoft Internet Explorer のインターネットオプションの設定	54
PPM Dashboardのページの自動循環	55
PDFファイルへのPPM Dashboardのページのエクスポート	56
モジュールコメントを表示	57
PPM Dashboardの個人用設定	57
PPM Dashboardのページの追加	59
PPM Dashboardのページのコピー、移動、削除	61
PPM Dashboardのページの名前の変更	62
PPM Dashboardのページの更新間隔の設定	63
PPM Dashboardのページへのポートレットの追加	64
PPM Dashboardのページ上でのポートレットの移動	66
PPM Dashboardのページのプレビュー	66
グループを使用した作業	67
ポートレットのパーソナライズ	68
ポートレットの削除	68
ポートレットのサイズの変更	69
ポートレットの設定	71
ポートレットに対するクエリビルダの使用	72
3 PPM Workbenchの使用	73
PPM Workbenchの起動と終了	73

PPM CenterからのPPM Workbenchの起動	73
デスクトップからのPPM Workbenchの起動(初期インストール時).....	73
デスクトップからのPPM Workbenchの起動.....	74
PPM Workbenchの終了	74
エンティティの検索	75
保存クエリ	75
保存クエリの作成.....	75
保存クエリの使用	76
保存クエリの削除.....	76
大文字小文字の区別とワイルドカードの使用	77
高度なクエリ	77
設定エンティティの選択	80
エンティティを開く、削除、コピー	82
新規エンティティの作成	82
PPM Workbench ウィンドウのナビゲート	83
4 次のステップ	85
本書の終了後	85
索引	87

1 はじめに

HP Project and Portfolio Management Centerの概要

HP Project and Portfolio Management Centerへようこそ！

本書では、PPM Centerの基本的な使用方法について詳しく説明します。また、一般的なタスクを実行する方法と、ページを個人用に設定して使いやすくする方法についても説明します。

ほとんどのPPM Centerユーザは、標準ユーザインタフェースで作業します。このインタフェースは専用Webページを集めたものです。これらのページをWebブラウザで開いて、PPM Centerをカスタマイズして表示できます。これらのページから、レポートの実行、リクエストの送信、プロジェクトの作成が可能です。PPM Dashboardを表示して使用することもできます。PPM Dashboardでは、PPM Centerシステムの状態をリアルタイムでWebページとして表示できます。ポートレットを使用して、自分に割り当てられたリクエストのステータスから、現在のプロジェクトとスタッフィングプロファイルとの比較まで、作業環境に関する重要な情報を表示できます。

一部のユーザは、標準ユーザインタフェースのほかに、特定のタスクを実行するためにPPM Workbenchを使用する必要があります。Webブラウザで開くWebページとは異なり、PPM Workbenchは専用のウィンドウで開きます。PPM Workbenchは上級ユーザ向けであり、PPM Centerのさまざまな設定を行うことができます。PPM Workbenchから、ワークフローの定義、リクエストタイプの作成、自動通知の設定、その他多くのタスクおよび手順を実行できます。

PPM Centerの外観は、システム管理者によって設定された、機能およびデータに対するユーザのアクセスレベルによって決まります。表示されるページ、ポートレット、フィールドのセットは、割り当てられたアクセスレベルに応じて、別のユーザに表示されるものとは異なる場合があります。



PPMのWebページ

PPM Centerの標準ユーザインタフェースは、Webブラウザで開く専用Webページのセットであり、PPM Centerをカスタマイズして表示できます。これらのページから、レポートの実行、リクエストの作成、パッケージの検索、およびその他の多くのタスクを行うことができます。図 1-1に典型的なページを示します。

図 1-1. PPM CenterのWebページ



PPM Centerのコンポーネント

PPM Centerには、次のコンポーネントがあります。

- **PPM Dashboard:** PPM Dashboardは標準ユーザインタフェースの中核です。PPM Dashboardから、プロジェクトと成果物について最新の正確なステータスがわかります。プロジェクトチームは、PPM Dashboardを使って現在のステータスを常に把握できます。管理者は、プロジェクトの進捗状況と問題をリアルタイムで把握できます。経営陣は、すべての構想を高レベルのIT価値の観点から見て、組織の全体的な戦略との整合性を図ることができます。
- **ナビゲーションパス:** PPM Dashboardの上部にはナビゲーションパスがあります。ナビゲーションパスには、現在のPPM Dashboardセッションで開かれているページのリストが表示されます。ナビゲーションパスのエントリを選択することで、前に参照したページにアクセスできます。
- **メニューバー:** メニューバーには、メニュー、サブメニュー、メニュー項目の階層的な構造が表示されます。メニューとサブメニューは、メニュー項目をまとめたものです。メニュー項目は、レポートや検索などの作業用のページへのリンクです。[開く]>[管理]>[プログラムプロセス]>[問題プロセスの管理]などの一部のメニュー項目では、PPM Workbenchでウィンドウが開きます。



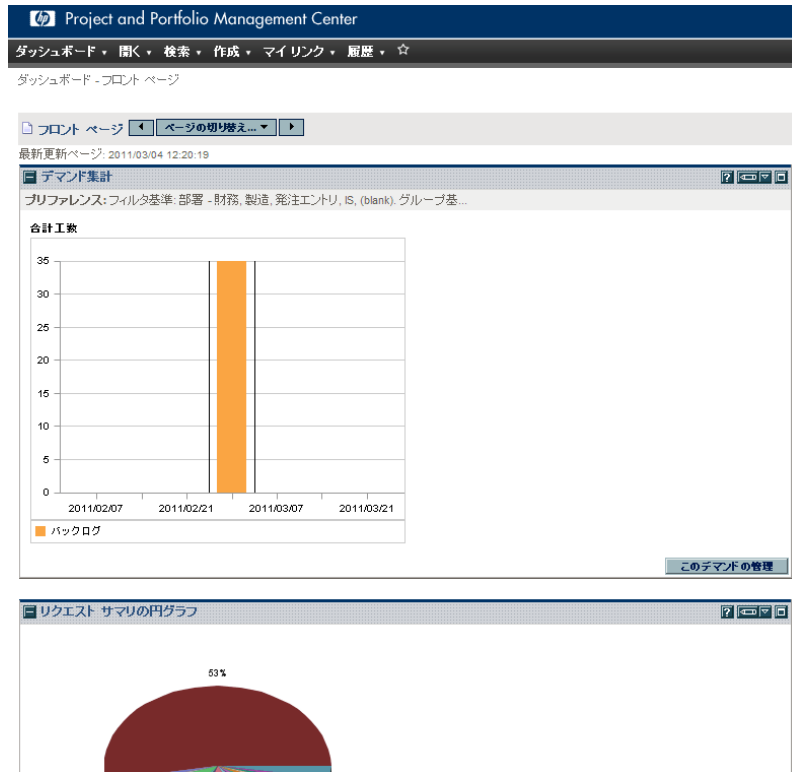
Webブラウザでポップアップブロックやダウンロードブロックが有効になっている場合は、Webページを使用する際に問題が生じる可能性があります。

PPM Dashboardのページ

PPM Dashboardのページを使って、アプリケーションデータを整理できます。PPM Dashboardの1ページをプロジェクト情報に使用し、別の1ページをPPM Center製品(HP Demand Management、HP Portfolio Managementなど)用に確保できます。ページを使って自由にデータを整理することができます。

PPM Dashboardの各ページの一番上には、PPM Dashboardのページを識別するためのラベルが表示されています。図 1-2にPPM Dashboardのページを示します。

図 1-2. PPM Dashboardの典型的なページ



PPM Dashboardのページのタイプ

PPM Dashboard のページには、複数の異なるソースが存在する場合があります。ほとんどの場合、PPM Dashboard のページとその内容は選択できますが、常に選択できるわけではありません。次に、PPM Dashboard のさまざまなページタイプのリストを示します。

- **PPM Dashboard のデフォルトのページ:** PPM Dashboard のデフォルトのページは、PPM Center にログオンしたときに最初に表示される PPM Dashboard のページです。PPM Dashboard のパーソナライズを行っているユーザの場合は、リストの一番上にあるプライベートのページがデフォルトページになります。新規ユーザの場合は、リストの一番上にある共有ページがデフォルトのページになります。
- **非公開の PPM Dashboard のページ:** 非公開の PPM Dashboard のページは、ユーザが作成し、設定を行います。非公開ページでは、ポートレットの追加、ページのリストでの上下移動、削除が可能です。

- **共有のPPM Dashboardのページ:** 共有のPPM Dashboardのページは、アプリケーション管理者によって設定され、1人以上のユーザに公開されます。共有のPPM Dashboardのページをユーザが編集することはできません。共有のPPM Dashboardのページはモジュールとして作成されます。モジュールの作成方法の詳細については、『ポートレットとモジュールの作成』ガイドを参照してください。
- **空白ページ:** 空白ページは、ポートレットがないPPM Dashboardのページです。空白のPPM DashboardのページをPPM Dashboardに追加した後、そのPPM Dashboardページを自由に設定することができます。

ポートレット

ポートレットはPPM Dashboardのページに常駐し、リアルタイムのデータを表示します。ポートレットは多様な設定が可能であるため、システムのすべてのデータにフィルタをかけて絞り込み、必要な情報を見つけることができます。ポートレットには、次の2つの基本タイプがあります。

- **リストポートレット:** リストポートレットには、行と列を使った表形式でデータが表示されます。図 1-3に、リクエストリストポートレットを示します。
- **グラフポートレット:** グラフポートレットには、棒グラフ、円グラフ、バブルグラフなどのグラフ形式でデータが表示されます。図 1-3に、[オープン済みリクエスト (優先度別)] グラフポートレットを示しています。

図 1-3. 典型的なポートレット

プロジェクト リスト							
名前 Δ	プロジェクト番号	作業計画の達成率 (%)	ステータス	計画開始日	計画終了日	プロジェクト	マネージャ
Analysis	30129	0%	アクティブ	9月 2010	12月 2010	Admin User	
Developer Tools improvements	30144	0%	計画中	9月 2010	12月 2010	Admin User	
ERP Upgrade	30186		計画中	11月 2010	5月 2011	Admin User	
Project 1001	30131	84%	計画中	9月 2010	1月 2011	Admin User	
Project 1002	30193	0%	計画中	10月 2010	12月 2010	Admin User	

マイパッケージ						
パッケージ番号	ワークフロー	優先度	説明 Δ	アサイン先	最終更新	作成者
30018	開発 > テスト > 本番	通常	ERP Patch v4.5.4.7 Migration Test	jack smith	11/01/05	Admin User
30020	開発 > テスト > 本番	通常	Patch v3 migration test	jack smith	11/02/14	Admin User
30007	開発 > テスト > 本番	重大	Patch v3 migration test	Fredrick Schmidt	11/02/14	Admin User
30021	開発 > テスト > 本番	通常	Patch v4 migration test	jack smith	11/02/14	Admin User
30017	開発 > テスト > 本番	低	Patch v4a migration test	jack smith	11/02/14	Admin User

マイリクエスト						
リクエスト番号 Δ	リクエスト タイプ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者
30124	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規 (保留中の参照 - 0%)	Armie Geiz	通常	Admin User
30125	DEM - アプリケーションバグ	Patch v3 migration test	新規 (保留中の参照 - 0%)	Ayako Yos...	通常	Admin User
30126	DEM - アプリケーションバグ	Patch v4 migration test	新規 (保留中の参照 - 0%)	Fredrick ...	重大	Admin User
30127	DEM - アプリケーション機能拡張	1221 test entry for LQAing	機能仕待ち (保留中の参照 - 28.14%)	Joseph2 B...	通常	Admin User
30128	DEM - アプリケーション機能拡張	1221 test entry for LQAing	機能仕待ち (保留中の参照 - 0%)	Admin User	通常	Admin User

ポートレットの編集ページを使って、個々の要件に合わせてポートレットを個人用に設定できます。ポートレット編集ページには、[プリファレンス]セクションがあります。[プリファレンス]セクションで、データのフィルタとソートを設定したり、データの表示方法を選択したりすることができます。リストポートレットの場合は、[表示列の選択]セクションも表示されます。[表示列の選択]セクションで、ポートレットに表示する列を選択できます。

PPM Workbench

PPM Center ユーザの多くは、Web ページ上でタスクが開始および完了しますが、一部のユーザは PPM Workbench で作業する必要があります。PPM Workbench は、アプリケーション管理者、設定担当者、上級ユーザが PPM Center を容易に設定できるように支援します。

PPM Workbench は、Web ブラウザのウィンドウではなく専用のウィンドウで開きます。PPM Workbench を開くには、標準インタフェースの [開く] > [管理] > [Workbench を開く] メニュー項目か、デスクトップに作成したショートカットを使用します。

PPM Workbench には、次のコンポーネントがあります。

- **PPM Workbench ウィンドウ:** PPM Workbench ウィンドウは、設定エンティティ (リクエストタイプ、オブジェクトタイプ、ワークフローなど) の検索と操作に使用されます。それぞれの設定エンティティには、専用の PPM Workbench ウィンドウがあります。設定エンティティの Workbench ウィンドウには、ショートカットバーを使ってアクセスします。
- **ショートカットバー:** ショートカットバーは、設定エンティティの Workbench ウィンドウを整理するために使用します。設定エンティティの Workbench ウィンドウはそれぞれ、[Demand Management]、[Time Management]、[Configuration Management] などの画面グループに属します。画面グループを選択すると、関連する PPM Workbench ウィンドウがショートカットバーのアイコンとして表示されます。
- **PPM Workbench メニュー:** PPM Workbench メニューにより、PPM Workbench を設定できます。ユーザプロファイルの設定や地域の設定などが可能です。また、パッケージなどの一部の PPM Workbench ウィンドウには、その PPM Workbench ウィンドウを選択したときに追加のメニューが表示されます。

製品情報とオンラインマニュアルの表示

PPM Centerの文書ライブラリにアクセスするには、PPM Centerのメニューバーから[開く]>[製品情報]>[ライブラリ]を選択します。[製品情報]メニューバーから、文書ライブラリと[HP Project and Portfolio Management Centerのバージョン情報]ページにアクセスできます。

文書へのアクセス

入手可能な文書を見つけるには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[開く]>[製品情報]>[ライブラリ]を選択します。
文書ライブラリが開きます。

図 1-4. 文書ライブラリページ

Documentation Library	
Click a link to view a document.	
General Interest	
Suggested General Interest Guides	PDF
User Guides	
Suggested User Guides	PDF
Supplemental Information	
Additional Project and Portfolio Management Center Products	
Custom Documentation	
System Administration Guides	
Suggested System Administration Guides	PDF
Configuration Guides	
Suggested Configuration Guides	PDF
General Guides and Reference Manuals	
Suggested Reference Manuals	PDF

図 1-4に、PPM Centerを最初にインストールした時点での文書ライブラリページを示します。表示されている各文書には、選択したトピック領域の関連情報を含む推奨ガイドのリストがあります。システム管理者はこのページをカスタマイズして、組織に関連する文書のみが表示されるようにすることができます。文書ライブラリページのカスタマイズの詳細については、『標準インタフェースのカスタマイズ』を参照してください。



PPM Workbenchからも、入手可能な文書を表示できます。PPM Workbenchから、[開く]>[製品情報]>[ライブラリ]を選択します。

バージョンとユーザアクセス情報の表示

PPM Centerの現在のバージョンやユーザアクセス情報を表示するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[開く] > [製品情報] > [HP Project and Portfolio Management Centerのバージョン情報]を選択します。

[HP Project and Portfolio Management Centerのバージョン情報] ページが開きます。

HP Project and Portfolio Management Centerのバージョン情報

バージョン 9.10.0000
LPバージョン 44
© Copyright 1997-2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P. 9.10.0000,4982 09/03/2010 01:11 AM
All Rights Reserved.
本プログラムは著作権法ならびに国際条約により保護されています。
この製品の全部または一部を無断で複製したり、
無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害と
なりますのでご注意ください。

ユーザ アクセス情報

Demand Management
Deployment Management
Project Management
ユーザ管理
構成



PPM Workbenchからも、PPM Centerの現在のバージョンやユーザアクセス情報を表示できます。PPM Workbenchから、[開く] > [製品情報] > [HP Project and Portfolio Management Centerのバージョン情報]を選択します。

2 Web ページの使用

PPM Centerへのログオンとログオフ

標準インターフェースはPPM CenterのWebページのセットであり、Webブラウザでネットワークを介してアクセスできます。ログオンするには、次のものがが必要です。

- PPM CenterのWebアドレス (URL)
- ユーザ名
- パスワード
- 少なくとも1つのPPM Center製品ライセンス



PPM Center Webページの表示のカスタマイズについては、『標準インターフェースのカスタマイズ』ガイドを参照してください。

PPM Centerへのログオン

PPM Centerにログオンするには、次の手順を実行します。

1. Web ブラウザから、PPM CenterのWebアドレスを入力します。

PPM Centerのログオンページが開きます。

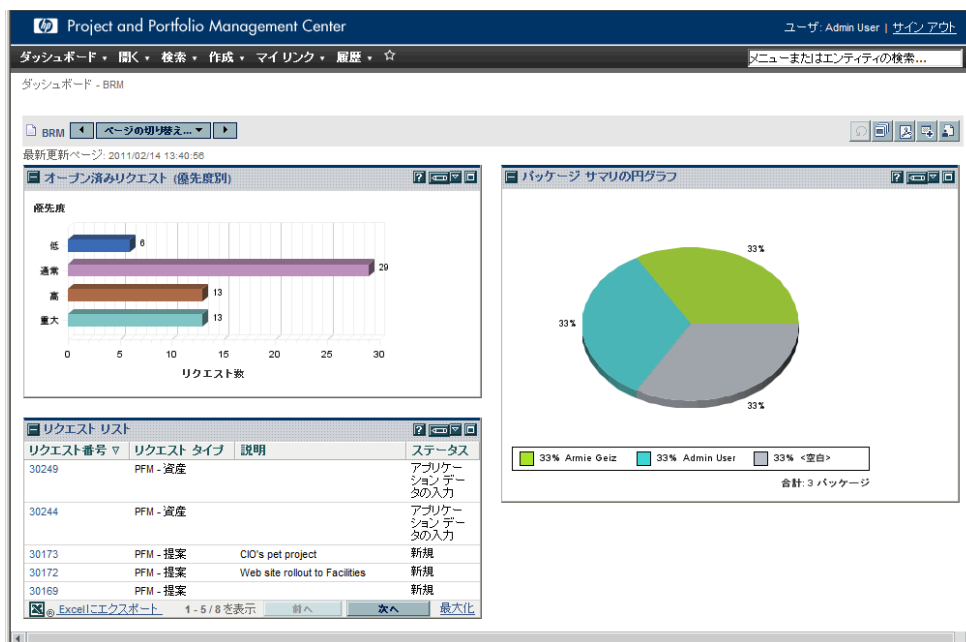
2. ユーザー名、パスワード、セッション言語を該当するフィールドに入力します。

サーバにパスワードを記憶させるには、[**ログオンを記憶する**] チェックボックスを選択します。このチェックボックスを選択すると、ログオンするたびにパスワードを入力する必要がなくなります。

セッション言語の詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

3. PPM Center のログオンページで、[送信] をクリックします。

Web ページが開きます。初めて使用するユーザの場合は、新規パスワードの入力を求められる場合があります。



PPM Centerからのログオフ

PPM Centerからログオフするには、ページの右上隅にある「サインアウト」をクリックします(図 2-1を参照)。

図 2-1. PPM Centerからのログオフ

The screenshot displays the Project and Portfolio Management Center (PPM Center) interface. The top navigation bar includes the title 'Project and Portfolio Management Center', the user name 'ユーザ: Admin', and a 'サインアウト' (Sign Out) button. Below the navigation bar, there are several dashboard widgets:

- オープン済みリクエスト (優先度別)**: A horizontal bar chart showing the number of open requests by priority level. The x-axis is labeled 'リクエスト数' (Number of Requests) and ranges from 0 to 30. The y-axis lists priority levels: 低 (Low), 通常 (Normal), 高 (High), and 重大 (Critical). The data points are: 低: 0, 通常: 20, 高: 13, 重大: 13.
- パッケージ サマリの円グラフ**: A pie chart showing the distribution of packages. The legend indicates: 33% Armie Geiz (green), 33% Admin User (cyan), and 33% <空白> (grey). The total is noted as '合計: 3 パッケージ' (Total: 3 Packages).
- リクエスト リスト**: A table listing requests with columns for 'リクエスト番号' (Request Number), 'リクエスト タイプ' (Request Type), '説明' (Description), and 'ステータス' (Status). The table contains 5 rows of data.

リクエスト番号	リクエスト タイプ	説明	ステータス
30249	PFM - 資産		アプリケーションデータの入力
30244	PFM - 資産		アプリケーションデータの入力
30173	PFM - 提案	CIO's pet project	新規
30172	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規
30169	PFM - 提案		新規

PPM Centerのメニューバー

メニューバーには、メニュー、サブメニュー、メニュー項目の階層的な構造が表示されます。メニュー項目は、レポートや検索などの作業用のページへのリンクです。[開く]>[管理]>[プログラムプロセス]>[問題プロセスの管理]などの一部のメニュー項目では、PPM Workbenchでウィンドウが開きます。



PPM Workbenchの詳細については、「PPM Workbenchの使用」(73 ページ)を参照してください。

リクエスト、パッケージ、その他のエンティティの作成

エンティティとは、PPM Centerで操作するリクエスト、パッケージ、プロジェクト、その他のオブジェクトです。作成できるエンティティは、アプリケーション管理者から割り当てられたアクセス権によって異なります。

エンティティを作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、目的の製品領域をクリックします。

たとえば、新規リクエストを作成するには、[開く]>[Demand Management]>[リクエストの作成]を選択します。新規プロジェクトを作成するには、[開く]>[Project Management]>[プロジェクト&タスク]>[プロジェクトの作成]を選択します。

選択したエンティティに固有の作成ページが開きます。作成ページには、エンティティタイプに関連したフィールドがあります。すべてのエンティティが類似しているわけではありません。「スキル」のように、単一のエンティティタイプしかないエンティティもあります。

新規プロジェクト作成

プロジェクト名:	<input type="text"/>
プロジェクト タイプ:	<input type="text"/>
プロジェクト マネージャ:	Admin User
計画開始期間:	<input type="text"/>
計画終了期間:	<input type="text"/>
地域:	MercuryJP

リクエストのように、複数のエンティティタイプを持つエンティティもあります。このようなエンティティの場合は、作成ページを開く前にエンティティタイプを選択する必要があります。

新規リクエストの作成


リクエスト タイプ:

目的のアクションに基づいて作成
最近作成されたもの
アプリケーション バグのレポート
新規開始のリクエスト
アプリケーション機能拡張のリクエスト
RFI - 資産
プロジェクトの問題のログ


プログラムなど一部のエンティティの場合は、エンティティ作成のプロセスに従う必要があります。これらのエンティティを作成するには、プロセス全体を完了しなければなりません。

新規プログラムの作成

プログラム名:



プログラム マネージャ: 



プログラム名:



プログラム マネージャ:  プログラムのステータス:

相対的優先度: プログラム全体のヘルス:

スコア:



説明:  

ベネフィット:  

ステータス メモ:  

ビジネス目標

名前	ステータス	オーナー	優先度	説明
メモ				

新規メモ:  

参照

リクエスト、パッケージ、その他のエンティティの検索

検索により、PPM Center内のエンティティを見つけることができます。エンティティの検索には、PPM Centerの文書管理機能は使用しません。

新規検索の実行

新規検索を実行するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、目的の製品領域をクリックします。

たとえば、リクエストを検索するには、[開く] > [Demand Management] > [リクエストの検索] を選択します。[リクエストの検索] ページが開きます。

プロジェクトを検索するには、[開く] > [Project Management] > [プロジェクト&タスク] > [プロジェクトの検索] を選択します。[プロジェクトの検索] ページが開きます。

検索ページには、検索タイプに関連したフィールドがあります。

3. 検索ページで、必須パラメータすべてと、オプションのパラメータのうち必要なものを入力して、[検索] をクリックします。

[検索結果] ページに検索結果が表示されます。

カスタマイズ検索の定義

[リクエストの検索] ページにはクエリビルダがあります。クエリビルダでは、ブール演算子を使ってリクエストタイプの中で詳細な検索クエリを定義できます。

たとえば、[説明] に「リリースノート」という単語が含まれ、[優先度] が [重大] になっているすべての機能拡張リクエストを検索できます。

クエリビルダを使えるようにするには、[リクエストタイプ] フィールドに単一の値を入力する必要があります。

クエリビルダを使用して新規クエリを定義するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、**[開く]** > **[Demand Management]** > **[リクエストの検索]**を選択します。

[リクエストの検索] ページが開きます。

The screenshot displays the 'Request Search' interface in the Project and Portfolio Management Center. At the top, there is a navigation bar with '開く' (Open) > 'Demand Management' > 'リクエストの検索' (Request Search). The main area contains several filter sections:

- 検索条件:** Includes fields for 'リクエストタイプ' (Request Type), 'ステータス' (Status), 'アサイン先' (Assignee), '作成者' (Creator), '部署' (Department), 'ワークフロー' (Workflow), '連絡先' (Contact), 'リンクされたプロジェクト' (Linked Project), '作成日が次の日から' (Created on or after), '最終更新日が次の日から' (Last updated on or after), '優先度' (Priority), 'アサイン先グループ' (Assignee Group), 'リクエストサブタイプ' (Request Subtype), 'アプリケーション' (Application), 'リクエストグループ' (Request Group), '会社名' (Company Name), and 'ワークフロー ステップでアクティブ' (Active in Workflow Step).
- 検索オプション:** Includes '詳細を表示するリクエスト番号' (Request numbers to display details), '実行' (Execute), '検索' (Search), and 'キャンセル' (Cancel) buttons.
- 追加のフィルタ:** A section with a 'クエリビルダ' (Query Builder) button.
- ソート基準:** A dropdown menu set to 'リクエスト番号' (Request Number) with radio buttons for '昇順' (Ascending) and '降順' (Descending).
- 結果制限:** '1 ページ当たりの最大結果数' (Maximum results per page) set to 50, and '返される行の最大数' (Maximum rows returned) set to 1000.
- 列の選択 (Column Selection):** A section with two lists: '利用できる列' (Available Columns) and '選択した列' (Selected Columns). The '利用できる列' list includes 'アサイン先グループ', 'アプリケーション', 'リクエストグループ', 'リクエストサブタイプ', 'ワークフロー', '会社名', '作成日', '最終更新', and '連絡先'. The '選択した列' list includes 'リクエスト番号', 'リクエストタイプ', 'リクエスト説明', 'ステータス', 'アサイン先', '優先度', and '作成者'. A note states: '注記: アスタリスク (*) が列につく列名、表示から削除できません。' (Note: Column names with an asterisk (*) cannot be removed from display).
- 保存オプション:** '次の名前での検索を保存' (Save search with next name) and '保存' (Save) buttons.

3. **[リクエストタイプ]** フィールドに値を入力します。また、フィールドの右側にある **[リスト]** ボタンをクリックすると、選択可能なリクエストタイプを示すウィンドウが開きます。

リクエスト タイプ (前方一致):

すべてのリクエスト タイプの表示 はい いいえ 検索

ページ: 1 1 - 22 / 22 を表示

利用可能: 選択する値をクリックします 選択済み:

PFM - プロジェクト	リクエスト タイプ
PFM - 提案	DEM - アプリケーション バグ
PFM - 資産	
PFM - 資産リクエスト	
バグ	
プログラム リスク	
プログラムの問題	
プロジェクト リスク	
プロジェクトのスコープ変更リクエスト	
プロジェクトの問題	
プロジェクトの問題	

ウィンドウを閉じる

リクエストタイプを入力すると、[クエリビルダ] ボタンが有効になります。

4. [クエリビルダ] をクリックします。

[クエリビルダ検索用語] ウィンドウが開きます。

ウィンドウを閉じる

検索用語

現在、表示する検索用語はありません

5. [追加] をクリックします。

[クエリビルダ検索用語 - 新規エントリ] ウィンドウが開きます。

ウィンドウを閉じる

クエリビルダ検索用語 - 新規エントリ

フィールド:

比較演算子:

6. **[フィールド]** を指定し、そのフィールドに対するブール型の **[比較演算子]** と目的の **[値]** を指定します。

[比較演算子] で使用できるオプションのリストは、指定した **[フィールド]** タイプによって異なります。

[値] フィールドは、**[フィールド]** を指定するまで表示されません。

7. **[完了]** をクリックします。

指定した用語が **[クエリビルダ検索用語]** ウィンドウに追加されます。検索する用語をクエリに追加するには、**[上に追加]** または **[下に追加]** をクリックします。また、各用語の前にあるチェックボックスを選択して **[グループ]** または **[グループ解除]** をクリックすると、検索用語をグループ化できます。

8. **[完了]** をクリックします。

クエリが **[リクエストの検索]** ページの **[追加のフィルタ]** セクションに追加されます。

9. **[検索]** をクリックすると、新しく定義したクエリを使用して検索が実行されます。

検索の保存

よく実行するリクエスト検索を保存して、再実行することができます。

検索を保存するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. 検索を実行します。

検索を実行する方法については、「**新規検索の実行**」(26 ページ) を参照してください。**[検索結果]** ページが読み込まれ、検索結果が表示されます。

保存済み検索の実行

保存済み検索を実行するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーで、[開く] > [Demand Management] > [保存済み検索] > [保存済み検索の管理] を選択し、保存済み検索をクリックします。

保存済み検索が実行されます。[検索結果] ページに検索結果が表示されます。

保存済み検索の管理

保存済み検索カテゴリ間を移動して、保存済み検索を管理できます。また、保存済み検索の削除もできます。

保存済み検索を管理または削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーで、[開く] > [Demand Management] > [保存済み検索] > [保存済み検索の管理] を選択します。

[保存済み検索の管理] ページが開きます。

保存済み検索の管理

新規カテゴリの追加

保存 キャンセル

カテゴリなし

rete

カテゴリ名: Project terms

保存 キャンセル

3. 保存済み検索を移動または削除します。

- 保存済み検索を移動するには、次の手順を実行します。
 - i. 保存済み検索を選択します。

選択した保存済み検索に対して、**移動矢印**アイコンと**削除**アイコンが有効になります。
 - ii. 有効になった**移動矢印**アイコンをクリックして、保存済み検索を移動します。

カテゴリ間を移動したり、カテゴリ内で別の保存済み検索に移動したりすることができます。
 - iii. [保存済み検索の管理] ページで、[保存] をクリックします。

[保存済み検索の管理] ページに加えた変更が保存され、メニューバーが更新されます。
- 保存済み検索を削除するには、次の手順を実行します。
 - i. 保存済み検索を選択します。

選択した保存済み検索に対して、**移動矢印**アイコンと**削除**アイコンが有効になります。
 - ii. 有効になった**削除**アイコンをクリックして、保存済み検索を削除します。

選択した保存済み検索が削除されます。
 - iii. [保存済み検索の管理] ページで、[保存] をクリックします。

[保存済み検索の管理] ページに加えた変更が保存され、メニューバーが更新されます。

保存済み検索のカテゴリの管理

保存済み検索のカテゴリを作成、移動、削除できます。

保存済み検索のカテゴリを管理するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーで、[開く] > [Demand Management] > [保存済み検索] > [保存済み検索の管理] を選択します。

[保存済み検索の管理] ページが開きます。

保存済み検索の管理

新規カテゴリの追加

保存 キャンセル

カテゴリなし

rete

カテゴリ名: Project terms

保存 キャンセル

3. 保存済み検索のカテゴリを作成、移動、削除します。
 - 保存済み検索のカテゴリを作成するには、次の手順を実行します。
 - i. [保存済み検索の管理] ページで、[新規カテゴリの追加] をクリックします。

新規カテゴリセクションが開きます。
 - ii. 新規カテゴリセクションの [カテゴリ名] フィールドに新規カテゴリ名を入力し、[保存] をクリックします。

新規カテゴリが作成されて保存されます。カテゴリに保存済み検索がある場合、そのカテゴリがメニューバーに表示されます。

- 保存済み検索カテゴリを移動するには、次の手順を実行します。
 - i. 移動する [**カテゴリ**] セクションで**移動矢印**アイコンをクリックして、カテゴリを移動します。

カテゴリに対して使用できる**移動矢印**アイコンは、常に有効になっています。
 - ii. [保存済み検索の管理] ページで、[**保存**] をクリックします。

[保存済み検索の管理] ページに加えた変更が保存され、メニューバーが更新されます。
- 保存済み検索のカテゴリを削除するには、次の手順を実行します。
 - i. 削除する [**カテゴリ**] セクションで**削除**アイコンをクリックして、そのカテゴリを削除します。

削除アイコンが有効になっている場合は、そのカテゴリを削除できます。**削除**アイコンが有効になっていない場合は、そのカテゴリを削除できません。
 - ii. [保存済み検索の管理] ページで、[**保存**] をクリックします。

[保存済み検索の管理] ページに加えた変更が保存され、メニューバーが更新されます。

リクエストの検索 (タイプ別)

リクエストブラウザを使用して、特定のタイプのリクエストを検索できます。リクエストブラウザでは、指定したフィールドによってリクエストをグループ分けして階層的に表示することができます。各グループの合計数をクリックすると、そのグループを展開してリクエストのリストを表示できます。図 2-2 に、リクエストブラウザの典型的な結果の例を示します。

図 2-2. リクエストブラウザの結果

DEM - アプリケーション バグ 件のリクエストの参照

プリファレンス セオの変更		再読み込み
優先度	合計	
合計	12	
通常	8	
重大	2	
低	2	

リクエスト検索結果		フィルタ: 優先度=低	1 - 2 / 2 を表示			
リクエスト番号 ▾	リクエスト タイプ	説明	リクエスト ステータス	アサイン先	優先度	リクエスト者
<input type="checkbox"/> 30273	DEM - アプリケーションバグ	Reconfigure version control	新規		低	Admin User
<input type="checkbox"/> 30272	DEM - アプリケーションバグ	Fix bug list categories	新規		低	Admin User

[すべてチェック](#) [すべてクリア](#) [画像](#) 1 - 2 / 2 を表示

 [Excelにエクスポート](#)

リクエストブラウザにアクセスするには、メニューバーから [開く] > [Demand Management] > [リクエストブラウザ] > [リクエストの参照] を選択します。

図 2-3. リクエストブラウザでの検索

リクエストの参照

リファレンスメニューの選択 参照 キャンセル

リクエスト ブラウザ リスト設定 フィールドのクリア

リクエスト タイプ: 詳細検索

ステータス: 優先度:

アサイン先: アサイン先グループ:

作成者: リクエスト サブ タイプ:

部署: アプリケーション:

ワークフロー: リクエスト グループ:

連絡先: 会社名:

リンクされたプロジェクト: ワークフロー ステップでアクティブ:

作成日が次の日から: 次の日まで:

最終更新日が次の日から: 次の日まで:

リクエスト キーワード: リクエスト メモと説明の内容を検索します。

次へのアクションを禁止: リクエスト バッケージ マイ アクションが可能 はい いいえ
 クローズしたものをきめる はい いいえ

追加のフィルタ: リクエスト

ソート基準: 昇順
 降順

*1ページ当たりの最大結果数: *表示される行の最大数:

*各ツリー レベルでの最大行数:

リクエスト リストの列の選択

利用できる列 選択した列

アサイン先グループ リクエスト番号

アプリケーション リクエストタイプ

リクエスト グループ 説明

リクエスト サブ タイプ ステータス

ワークフロー アサイン先

会社名 優先度

作成日 作成者

最終更新

連絡先

注記: アスタリスク (*) が後に
付く場合は、表示から削除できま
せん。

リクエスト ブラウザ ツリー 設定

リクエスト ブラウザ ツリー で表示する 追加列を選択

追加列:

リクエスト ブラウザ ツリー でグループ化するフィールドを選択

利用できるフィールド 選択したフィールド

アサイン先 注記: 1つ以上のフィールドを
選択する必要があります (最大
5つまでのフィールドを選択で
きます)。

アサイン先グループ

アプリケーション

ステータス

リクエスト グループ

リクエスト サブ タイプ

リクエスト タイプ

リクエスト番号

ワークフロー

次の名前でのリファレンスを保存: 保存

参照 キャンセル

リクエストブラウザで、検索条件を指定します。



リクエストブラウザで指定できる **[リクエストタイプ]** は1つだけです。

次のリクエストブラウザの機能を使って、検索結果を整理できます。

- **[リクエストリストの列の選択]**: リクエストブラウザの階層グループ内で合計数をクリックすると、検索結果の下にそれらのリクエストが表示されます。このセクションを使って、結果の下にカラムとして表示する追加のリクエストフィールドを指定できます。
- **[リクエストブラウザツリーで表示する追加列を選択]**: このセクションを使って、リクエストブラウザに表示する追加のカラムを指定できます。
- **[リクエストブラウザツリーでグループ化するフィールドを選択]**: このセクションを使って、検索結果が属する階層を決める特定のリクエストフィールドを指定できます。このリストは並べ替え可能です。
- **[次の名前でこのプリファレンスを保存]**: [リクエストの検索] ページで検索を保存したのと同様に、入力した検索条件と設定のセットを保存できます。保存した検索は、後で再実行できます。

レポートの実行

PPM Centerには、すぐ使用できるレポートがいくつか付属しています。これらのレポートの多くは、個別の要件に合わせてカスタマイズすることもできます。

個々のレポートの詳細については、『Reports Guide and Reference』を参照してください。

新規レポートの実行

新規レポートを実行するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、**[開く]** > **[レポート]** > **[レポートの作成]** を選択します。

[新規レポートの送信] ページが開きます。

3. レポートを選択します。

レポートを選択する方法は2通りあります。

- **[最近送信されたレポート]** セクションでレポートを選択します。レポートの送信ページが開きます。
- **[レポートカテゴリ]** フィールドで、レポートのカテゴリを選択します。**[新規レポートの送信]** ページが更新され、使用可能なレポートが表示されます。レポートを選択します。レポートの送信ページが開きます。

新規レポートの送信

最近送信されたレポート	
処理されたデマンドの履歴	期間および含まれるデマンド フィールドが別々、満たされたデマンド履歴です。MS Excel やその他のデータ分析ツールにクエリ データをエクスポートするために便利です。
ベースライン比較レポート	現在のスケジュールとベースラインを比較し、ベースライン同士を比較します
デマンド作成履歴レポート	期間、および含まれるデマンド フィールドによる、デマンド作成履歴です。MS Excel やその他のデータ分析ツールにクエリ データをエクスポートするために便利です。

カテゴリ別にレポートを閲覧	
レポート カテゴリ: <input type="text" value="Deployment Management"/>	
MS SQL Server 7 環境の比較	2つの MS SQL Server 7 データベースのデータ モデルとデータベース オブジェクト (テーブル、ビュー、プロシージャ、およびトリガ) を比較します。すべてのオブジェクト、または部分のみをレポートします。
Oracle 環境の比較	2つの Oracle スキーマのデータ モデル (テーブル、インデックス) とデータベース オブジェクト (トリガー、ビュー、トリガ) を比較します。すべてのオブジェクト、または部分のみをレポートします。
RCS チェック アウト	(HP Project and Portfolio Management Center と RCS を使用している場合) RCS リポジトリからファイルをチェックアウトします。
RCS チェック イン	(HP Project and Portfolio Management Center と RCS を使用している場合) RCS リポジトリにファイルをチェックインします。
VC - チェック アウト	バージョン管理からファイルをチェックアウト
VC - チェック イン	バージョン管理からファイルをチェックイン

4. レポートの送信ページで、すべての必須のフィルタフィールド、およびオプションのフィルタフィールドのうち必要なものを入力して、**[送信]** をクリックします。

レポートの前に **[レポートの送信]** ページが開きます。

既存のレポートの表示

実行されたレポートはPPM Centerによって保存され、実行した本人やほかの人々が、そのレポートを後で参照することができます。

既存のレポートを開くには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、**[開く]** > **[レポート]** > **[レポートの表示]** を選択します。

[レポートの表示] ページが開きます。[レポートの表示] ページには、既存レポートの検索に関連したフィールドがあります。保存済みレポートを表示するには、**[開く]** > **[レポート]** > **[マイレポート]** を選択します。

3. [レポートの表示] ページで、すべての必須のフィルタフィールドと、オプションのフィルタフィールドのうち必要なものを入力して、**[検索]** をクリックします。

[レポート検索結果] ページが開きます。レポート検索条件を満たす既存のレポートがすべて一覧表示されます。

4. [レポート検索結果] ページで、レポートを選択します。

以前に実行されたレポートが開きます。

設定の変更

[開く] > [管理] メニューを使用すると、複数のインタフェース設定を好みに合わせて調整できます。パスワードも変更できます。

パスワードの変更

パスワードを変更するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[開く] > [管理] > [マイプロファイルの編集] を選択します。

[パスワードの変更] セクションで、パスワードを変更します。

The screenshot shows the 'マイプロファイルの編集' (Edit My Profile) page. At the top right, there are buttons for '保存' (Save), '完了' (Done), and 'キャンセル' (Cancel). Below the page title, there are tabs for '全般' (General) and '地域設定' (Regional Settings). The 'パスワードの変更' (Change Password) section is highlighted with a red circle and contains three input fields: '古いパスワード:' (Old Password), '新しいパスワード:' (New Password), and '新しいパスワードの再入力:' (Re-enter New Password). Below this section, there is a checkbox for 'すべての警告メッセージを再表示' (Re-display all warning messages) and a section for '最大概要セクションでの結果数' (Maximum number of results in summary section) with a value of 50. Other sections include 'プロジェクト作業計画プリファレンス' (Project Work Plan Preferences) and 'ダッシュボード コスト表示' (Dashboard Cost Display).

3. [パスワードの変更] セクションで、各フィールドに情報を入力します。

4. [完了] をクリックします。

新しいパスワードが承認されます。

警告メッセージ表示の設定

PPM Centerを使用しているときに警告メッセージが表示されることがあります。このメッセージがそれ以降は表示されないように設定することができます。表示されないようにした警告メッセージは、いつでもまたアクティブにできます。

警告メッセージを再びアクティブにするには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログインします。
2. メニューバーから、[開く] > [管理] > [マイプロファイルの編集] を選択します。

[消去可能なメッセージダイアログ] セクションで、警告メッセージの設定を変更します。

The screenshot shows the 'マイプロファイルの編集' (My Profile Edit) page. The '消去可能なメッセージダイアログ' (Eliminable Message Dialog) section is highlighted with a red circle. It contains the following text and controls:

- Header: 消去可能なメッセージ ダイアログ
- Text: 今後表示しないように設定した警告メッセージを、再表示するように設定できます。
- Checkbox: すべての警告メッセージを再表示

Other sections visible on the page include 'パスワードの変更' (Change Password) with fields for old, new, and confirm passwords; '最大概要セクションでの結果数:' (Maximum number of results in summary section) with a value of 50; 'プロジェクト作業計画プリファレンス' (Project Work Plan Preferences) with radio buttons for 20, 100, and 50 tasks per page; and 'ダッシュボード コスト表示' (Dashboard Cost Display) with a note about portlets and a 'コストの表示方法:' (Cost display method) label.

3. [消去可能なメッセージダイアログ] セクションで、[すべての警告メッセージを再表示] チェックボックスを選択します。
4. [完了] をクリックします。

警告メッセージが再び表示されるようになります。

ポートレットの最大ビューの設定

ポートレットの最大ビューでは、システムから収集されたデータが通常表示よりも多く表示されます。最大ビューでの表示行数は、通常表示よりも多く設定できます。



最大ビューでは、200行までの表示が可能です。

ポートレットの最大化表示の設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[開く] > [管理] > [マイプロファイルの編集] を選択します。

ポートレットの最大ビューの設定は、[概要ページセクションプリファレンス] セクションで変更します。

パスワードの変更

古いパスワード:

新しいパスワード:

新しいパスワードの再入力:

消去可能なメッセージ ダイアログ

今後表示しないように設定した警告メッセージを、再表示するように設定できます。

すべての警告メッセージを再表示

概要ページ セクション プリファレンス

最大概要セクションでの結果数:

プロジェクト作業計画プリファレンス

プロジェクト作業計画での1ページ当たりの表示タスク数をここで設定できます。

20 タスクページ。

100 タスクページ。

ページ (最大 = 500)。

ダッシュボード コスト表示

一部のポートレットは、ここで指定する設定に基づき、システム基本通貨、またはポートレット データに合った現地通貨でコスト データを表示するように構成されます

コストの表示方法:

基本通貨: アメリカ合衆国ドル (USD)

現地通貨

3. [最大概要セクションでの結果数] フィールドに、最大ビューで表示するエンタリ数を入力します。
4. [完了] をクリックします。

ポートレットの新しい最大ビュー設定が承認されます。

作業計画ページの表示の設定

HP Project Management では、一度に表示できる作業計画の作業数を制御できます。そのため、高速のローカル LAN を使用しているか分散ネットワークを使用しているかに関係なく、作業計画を効率的に管理できます。これらの設定は、[マイプロファイルの編集] ページで変更できます。これらの個別設定の詳細については、『HP Project Management ユーザーガイド』を参照してください。

コスト表示の設定

HP Financial Management では、コストデータをさまざまな通貨形式で表示できます。個人用のコストの表示設定は、[マイプロファイルの編集] ページで変更できます。これらの個別設定の詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

地域設定

日付、時刻、数字、通過の表示形式を変更するには、[マイプロフィールの編集]の[地域設定]タブで地域設定を編集します。これらの設定は、システムからの電子メール通知での各項目の表示にも影響します。地域設定と現地通貨表示の詳細については、「コスト表示の設定」(43 ページ)を参照してください。



(Windows のみ) Microsoft Excel にデータをエクスポートしたり、Microsoft Project とデータを同期したりするには、PPM Center の地域設定がエクスポートまたは同期先の Windows 環境の地域設定と一致している必要があります。地域設定が一致していることで、Microsoft Excel または Microsoft Project で日付や数字が正しく解釈されます。

地域設定を行うには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. メニューバーから、[開く] > [管理] > [マイプロフィールの編集] を選択します。

[地域設定] タブで、地域設定を変更します。

マイプロフィールの編集

The screenshot shows the 'My Profile Edit' page with the 'Regional Settings' tab selected. The page title is '地域設定: 日付、時間、および数値形式'. Under the 'Format Options' section, it states that dates, times, numbers, and currencies are formatted according to the selected locale. A dropdown menu shows '日本語 (日本)' as the selected option. Below this, a 'Samples' section provides examples of how dates, times, and numbers are displayed in Japanese.

短い日付:	11/02/14
中間の長さの日付:	2011/02/14
長い日付:	2011/02/14
時間:	16:27:09 JST
負の数値:	-123,456,789.87
負の通貨:	-USD123,456,790

3. [以下のデフォルトオプションを使用] リストで、日付、時刻、通貨の値に使用するロケール(言語名/地域)を選択します。

4. [完了] をクリックします。

新しいロケールが承認されます。



システムに複数の言語がインストールされている場合、詳細については『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

PPM Dashboardの使用

PPM Dashboardは、PPM Centerからデータを収集してそのデータをリアルタイムで表示します。システムデータは、PPM Dashboardのページとポートレットを使って整理されます。それぞれのPPM DashboardにPPM Dashboardのページが少なくとも1つあります。

PPM Dashboardのページの表示

それぞれのPPM Dashboardには、PPM Dashboardのページが1つ以上あります。PPM Dashboardの各ページの一番上には、そのページを識別するためのラベルがあります。PPM Dashboardページ間を移動するには、[ページの切り替え] をクリックして、目的のページを選択します(図 2-4を参照)。[ページの切り替え]の横にある矢印アイコンをクリックして、PPM Dashboardのページ間を順に移動していくこともできます。

図 2-4. PPM Dashboardのページ間の切り替えのためのボタン



[ダッシュボード] を選択し、メニューバーから目的のページを選択することもできます。

ポートレットビューの設定

ポートレットは、次のいずれかのビューに設定できます。

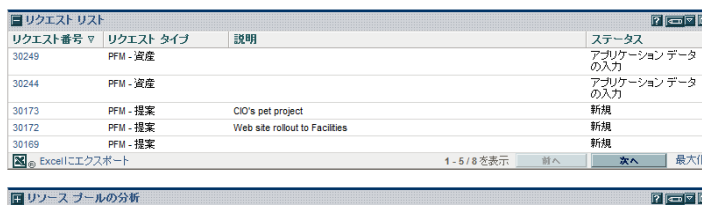
- **最小ビュー**：表示されるのはポートレットのタイトルバーのみです。別の PPM Center セッションに変わっても、ポートレットは最小化されたままです。ポートレットを最小化するには、ポートレットの通常ビューで、タイトルバーのポートレット名の左側にある **[最小化]** アイコンをクリックします (図 2-5 を参照)。

図 2-5. ポートレット最小化アイコン



- **通常ビュー**：ポートレットの標準設定ビューです。リストポートレットの場合は、標準設定の行とカラムがポートレット内に表示されます。グラフポートレットの場合は、グラフが表示されます。別の PPM Center セッションに変わっても、ポートレットは通常の状態のままです。最小化されたポートレットを通常ビューに戻すには、ポートレットの最小ビューで **[通常]** アイコンをクリックします (図 2-6 を参照)。

図 2-6. ポートレットの通常ビューと最小ビュー



- **最大化ビュー**：ポートレットの最大化ビューは、新しいページで開かれます。ポートレットの最大化ビューには、通常ビューより多くの行と列が含まれています。ポートレットの最大化ビューは、別の PPM Center セッションに変わると保持されません。ポートレットの最大化ビューを表示するには、ポートレットの通常ビューで **[最大化]** アイコンをクリックします (図 2-7 を参照)。ポートレットを最大化ビューから通常ビューに戻すには、最大化ビューで **[戻る]** をクリックします (図 2-8 を参照してください)。

図 2-7. ポートレット最大化アイコン

プロジェクト リスト

名前 Δ	プロジェクト番号	作業計画の達成率 (%)	ステータス	計画開始日	計画終了日	プロジェクト マネージャ
Analysis	30129	0%	アクティブ	9月 2010	12月 2010	Admin User
Developer Tools improvements	30144	0%	計画中	9月 2010	12月 2010	Admin User
ERP Upgrade	30186		計画中	11月 2010	5月 2011	Admin User
Project 1001	30131	84%	計画中	9月 2010	1月 2011	Admin User
Project 1002	30193	0%	計画中	10月 2010	12月 2010	Admin User

Excelにエクスポート 1 - 5 / 8 を表示 前へ 次へ 最大化

マイ バッケージ

パッケージ番号	ワークフロー	優先度	説明 Δ	アサイン先	最終更新	作成者
30018	開発 > テスト > 本番	通常	ERP Patch v4 5.4.7 Migration Test	jack smith	11/01/05	Admin User
30020	開発 > テスト > 本番	通常	Patch v3 migration test	jack smith	11/02/14	Admin User
30007	開発 > テスト > 本番	重大	Patch v3 migration test	Fredrick Schmidt	11/02/14	Admin User
30021	開発 > テスト > 本番	通常	Patch v4 migration test	jack smith	11/02/14	Admin User
30017	開発 > テスト > 本番	低	Patch v4a migration test	jack smith	11/02/14	Admin User


Excelにエクスポート 13件中、1件目から 5件目までを表示します。 << >> 最大化

マイリクエスト

リクエスト番号 Δ	リクエスト タイプ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者
30124	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規 (保留中の参照 - 0%)	Armie Geiz	通常	Admin User
30125	DEM - アプリケーション バグ	Patch v3 migration test	新規 (保留中の参照 - 0%)	Ayako Yos...	通常	Admin User
30126	DEM - アプリケーション バグ	Patch v4 migration test	新規 (保留中の参照 - 0%)	Fredrick ...	重大	Admin User
30127	DEM - アプリケーション権能拡張	1221 test entry for LQAing	権能仕確待ち (保留中の参照 - 28.14%)	Joseph2 B...	通常	Admin User
30128	DEM - アプリケーション権能拡張	1221 test entry for LQAing	権能仕確待ち (保留中の参照 - 0%)	Admin User	通常	Admin User

Excelにエクスポート 87件中、1件目から 5件目までを表示します。 << >> 最大化

図 2-8. ポートレットの最大化ビュー

最大化ビュー 

リクエスト番号	リクエストタイプ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者
30249	PFM - 資産		アプリケーションデータの 入力			Admin User
30244	PFM - 資産		アプリケーションデータの 入力			Admin User
30173	PFM - 提案	CIO's pet project	新規			Admin User
30172	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規			Admin User
30169	PFM - 提案		新規			Admin User
30167	PFM - 資産		アプリケーションデータの 入力			Admin User
30133	PFM - 資産		アプリケーションデータの 入力			Admin User
30124	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規 (保留中の 参照 - 0%)	Armie Geiz	通常	Admin User

リストポートレットのデータの並べ替え

リストポートレットでは、ポートレットの編集ページを使って、収集データとそのデータの表示方法を個人用に設定することができます。また、ポートレットの [ソート] アイコンを使用して、データの表示方法を一時的に変更することもできます (図 2-9を参照)。

- [ソート] アイコンをカラム間で移動するには、カラムの見出しをクリックします。クリックしたカラムに [ソート] アイコンが移動します。ポートレットに表示されているデータがそのカラムに基づいて並べ替えられます。

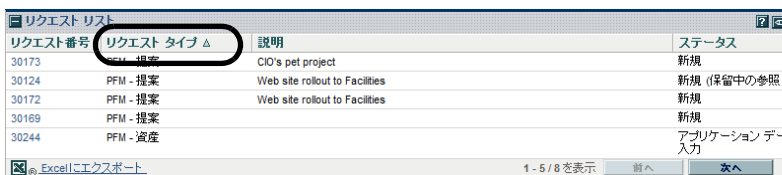
並べ替えるカラムを選択すると、並べ替えの順序を選択できます。[ソート]アイコンが上向きの場合、アルファベットの昇順(一番上が0またはA、一番下が9またはZ)にデータが並べ替えられます。[ソート]アイコンが下向きの場合、アルファベットの降順(一番上が9またはZ、一番下が0またはA)にデータが並べ替えられます。

- 並べ替えの順序を変更するには、[ソート]アイコンがあるカラムの見出しをクリックします。[ソート]アイコンが、上向きから下向きに、または下向きから上向きに切り替わります。



ポートレットの[ソート]アイコンを使ったデータ表示の並べ替えは、現在のPPM Centerセッションの間だけ有効です。

図 2-9. [ソート] アイコン



リクエスト番号	リクエスト タイプ	説明	ステータス
30173	CI - 提案	CIO's pet project	新規
30124	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規 (保留中の参照)
30172	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規
30169	PFM - 提案		新規
30244	PFM - 資産		アプリケーション データ入力

ポートレットからのドリルダウン

ドリルダウンページには、リンクエントリに関する追加の詳細情報や背景情報が含まれています。一部のドリルダウンページには、独自のリンクエントリとドリルダウンページを持ったポートレットがあります。

- リストポートレットからドリルダウンするには、リンクエントリをクリックします。

図 2-10. リストポートレットからのドリルダウン

The screenshot displays a web application interface. At the top, there is a table titled "リクエスト リスト" (Request List). The table has columns for "リクエスト番号" (Request Number), "リクエスト タイプ" (Request Type), "説明" (Description), and "ステータス" (Status). The data rows are as follows:

リクエスト番号	リクエスト タイプ	説明	ステータス
30173	PFM - 提案	CIO's pet project	新規
30124	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規 (保留中の参照 - 0%)
30172	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規
30169	PFM - 提案		新規
30244	PFM - 資産		アプリケーション データの 入力

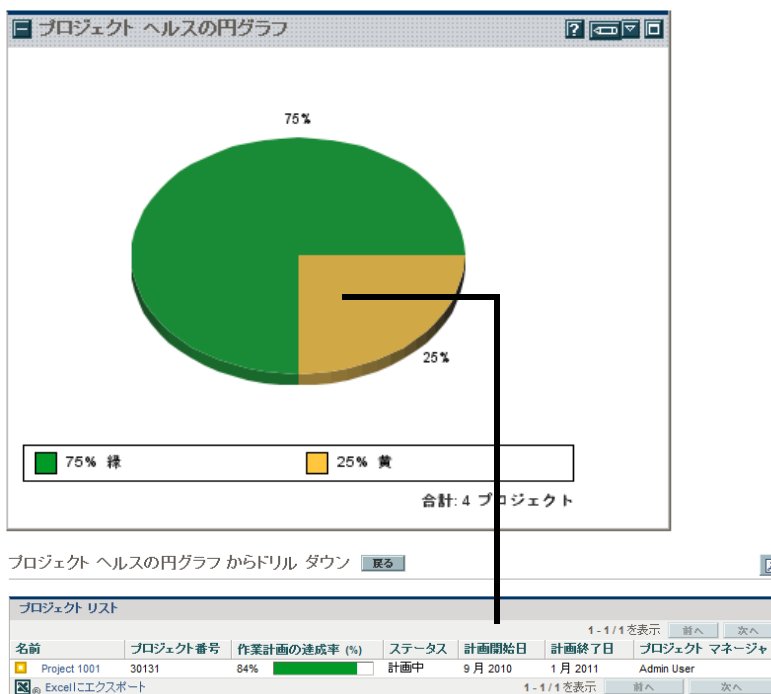
Below the table, there is a button labeled "Excelにエクスポート" and a status indicator "1 - 5 / 8 を表示".

The main part of the screenshot shows the detailed view for the request with ID "PFM - 提案 - #30173". The details are as follows:

- 説明: CIO's pet project
- リクエスト ステータス: 新規 (完全なステータスを表示)
- 利用できるアクションがありません
- Buttons: コピーの作成, 削除
- Buttons: すべて展開する, すべて折りたたむ, 保存
- ヘッダー
- サマリ
- 提案番号: 30173
- 作成者: Admin User
- ドライブ プロセス: PFM - 提案
- ビジネス ユニット: 企業 (dropdown menu)
- ステータス: 新規
- 説明: CIO's pet project
- リクエスト タイプ: PFM - 提案 (with a 変更 button)
- プロジェクト タイプ: (text input)
- 地域: MercuryJP (dropdown menu)
- 提案の依存関係: (text input)
- Buttons: 詳細, メモ (メモが存在しません), ステータス, 参照
- Buttons: コピーの作成, 削除
- Button: 保存

- グラフポートレットからドリルダウンするには、グラフのセグメントまたは凡例をクリックします。

図 2-11. グラフポートレットからのドリルダウン



[マイリンク] リストの保守

PPM Dashboardの多くのページを個人用に設定して作成し、よくアクセスするページがある場合、[マイリンク] リストを作成できます。Webブラウザの[お気に入り] リストと同様に、よくアクセスするPPM Dashboardのページのリンクのリストを作成できます。

図 2-12. [マイリンク] ページのリスト



[マイリンク] を管理するには、[**マイリンク**] > [**マイリンクの管理**] をクリックします。星型の [マイリンク] アイコンをクリックして、[マイリンク] リストに PPM Dashboard の現在のページを追加できます。



[マイリンク] リストに追加できるリンクの最大数は、標準設定で 100 です。リンクをさらに追加する必要がある場合は、server.conf の MY_LINKS_MAX_COUNT パラメータを変更することで最大数を変更できます。

[マイリンク] リストへのページの追加

[マイリンク] リストに、PPM Dashboard のページまたは URL を追加できます。現在表示している PPM Dashboard のページを追加するには、次のいずれかを行います。

- 星型の [**マイリンク**] アイコンをクリックします。現在のページが [マイリンク] リストに追加されます。
- [**マイリンク**] > [**マイリンクにこのページを追加**] をクリックします。現在のページが [マイリンク] リストに追加されます。

[マイリンク] リストからのページの削除

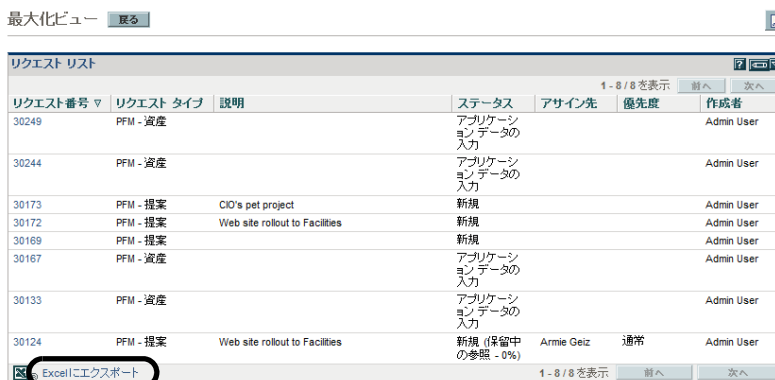
[マイリンク] リストから、PPM DashboardのページまたはURLを削除できます。PPM Dashboardのページを削除するには、[マイリンク]>[マイリンクの管理]をクリックして、削除するページを選択します。[削除]をクリックすると、選択したページが削除されます。

Excelスプレッドシートへのデータのエクスポート

リストポートレットの最大ページのデータを、Excelスプレッドシートにエクスポートできます。データを表示するには、システムにMicrosoft® Excelがインストールされている必要があります。

データをExcelスプレッドシートにエクスポートするには、[Excelにエクスポート]アイコンをクリックします。ブラウザページが開き、Microsoft Excelスプレッドシートにデータが表示されます。Microsoft Excelにインポートされたデータに対しては、ファイルの保存も含めて、Excelの標準機能をすべて使用できます。

図 2-13. データをExcelにエクスポート



The screenshot shows a web application interface with a table titled 'リクエストリスト' (Request List). The table has columns for 'リクエスト番号' (Request Number), 'リクエストタイプ' (Request Type), '説明' (Description), 'ステータス' (Status), 'アサイン先' (Assignee), '優先度' (Priority), and '作成者' (Creator). The table contains 8 rows of data. At the bottom of the table, there is a button labeled 'Excelにエクスポート' (Export to Excel), which is circled in red. The interface also includes a '最大化ビュー' (Maximize View) button and a '戻る' (Back) button.

リクエスト番号	リクエストタイプ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者
30249	PFM - 資産		アプリケーションデータの 入力			Admin User
30244	PFM - 資産		アプリケーションデータの 入力			Admin User
30173	PFM - 提案	CIO's pet project	新規			Admin User
30172	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規			Admin User
30169	PFM - 提案		新規			Admin User
30167	PFM - 資産		アプリケーションデータの 入力			Admin User
30133	PFM - 資産		アプリケーションデータの 入力			Admin User
30124	PFM - 提案	Web site rollout to Facilities	新規 (保留中の 参照 - 0%)	Armie Geiz	通常	Admin User



スプレッドシートのパフォーマンスを最大化するには、Webブラウザでインターネットオプションを設定します。詳細については、『HP Project Management ユーザーガイド』を選択してください。

エクスポートしたデータの変換

ポートレットが最大化されているとき、データをExcelスプレッドシートにエクスポートできます。Excelではデータがさまざまな形式に変換されますが、いくつかの例外事項があります。次に、例外事項の一覧を示します。

- 赤、黄、および緑のインジケータは、白文字の**R**、**Y**、**G**を含むグレー表示のセルに変換されます。
- タスク例外インジケータは、赤い感嘆符に変換されます。
- マイルストーンインジケータは、黒い菱形の文字に変換されます。
- ステータスバーは、パーセントの数値とパーセント文字 (%) を伴ってエクスポートされます。
- 通貨の値は、通貨記号、カンマ、ピリオドを伴ってエクスポートされます。
- URLへのリンクはエクスポートされますが、Webブラウザの現在のページではなく新規のページを開くように変更されます。

Microsoft Internet Explorerのインターネットオプションの設定

Microsoft Internet Explorer バージョン7を使用している場合、Microsoft Excel ファイルにデータをエクスポートするには、インターネットオプションを設定する必要があります。

1. ブラウザで [ツール] > [インターネットオプション] を選択します。
[インターネットオプション] ウィンドウが開きます。
2. [セキュリティ] タブをクリックします。
3. Web コンテンツのゾーンで [信頼済みサイト] を選択します。
4. [サイト] をクリックします。
[信頼済みサイト] ウィンドウが開きます。
5. このゾーンのWebサイトとして、PPM Serverを入力します。

6. **[追加]** をクリックします。
7. **[OK]** をクリックします。
8. **[インターネットオプション]** ウィンドウで、**[レベルのカスタマイズ]** をクリックします。
[セキュリティ設定] ウィンドウが開きます。
9. カスタム設定を **[中低]** 以下に設定します。
10. **[リセット]** をクリックします。
ダイアログボックスが開き、セキュリティの変更の確認が求められます。
11. このダイアログボックスで、**[はい]** をクリックします。
12. [セキュリティ設定] ウィンドウで、**[OK]** をクリックします。
13. **[インターネットオプション]** ウィンドウで、**[OK]** をクリックします。

PPM Dashboardのページの自動循環

すべてのページが一定の時間周期で1ページずつ順に **[ダッシュボード]** リストに表示されるように、PPM Dashboardを設定できます。また、標準のWebページの中と全画面のどちらでページが循環表示されるようにするかを設定することもできます。

PPM Dashboardのすべてのページが循環表示されるように設定するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. ページの右上隅にある **[ページの循環]** アイコンをクリックします。
[ページの循環] ダイアログボックスが開きます。
3. 次の設定を選択します。
 - 間隔
 - 全画面
4. **[開始]** をクリックします。

PPM Dashboardにより、指定した時間周期に従ってページが1ページずつ表示され始めます。

PDF ファイルへの PPM Dashboard のページのエクスポート



システムに複数の言語がインストールされている場合、多言語ページを PDF にエクスポートするための具象的なフォント要件については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

PPM Dashboard のページは、プレゼンテーション用に PDF ファイルにエクスポートできます。

PPM Dashboard のページを PDF ファイルにエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. エクスポートする PPM Dashboard のページを開きます。
2. ページの右上隅にある [**ダッシュボードページをPDFへエクスポート**] アイコンをクリックします。

[PDF 設定] ウィンドウが開きます。

3. 次の設定について、使用するオプションを選択します。

- PPM Dashboard のページの表示
- エクスポートするポートレット
- コメント (ページの一番上に表示)
- 用紙サイズ
- PDF 文書をブラウザウィンドウに表示するかどうか
- PDF 設定ウィンドウを開いたままにするかどうか

4. [**エクスポート**] をクリックします。

PPM Dashboard のページが、個別に表示と保存を行うことができる PDF ファイルにエクスポートされます。



ポートレットの最大ビューを PDF ファイルにエクスポートすることもできます。

モジュールコメントを表示

PPM Dashboard のページが共有されている (モジュールの管理者がすべてのユーザのアクセスを設定している) 場合、管理者がそのモジュールについて入力したコメントを表示できます。

コメントを表示するには、共有ページから [**モジュールコメントの表示**] アイコンをクリックします。そのモジュールの管理者が入力したすべてのコメントのリストが表示されます。

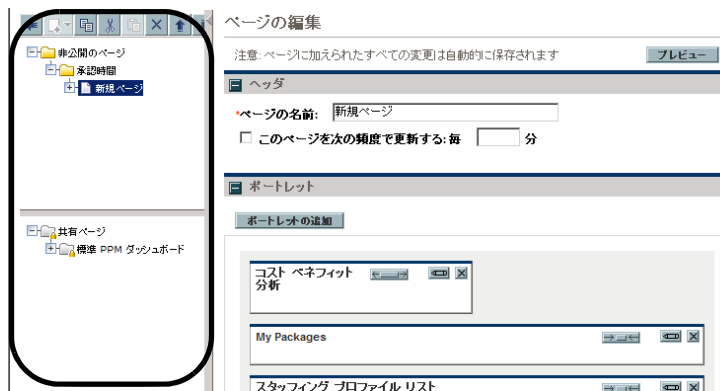
PPM Dashboard の個人用設定

PPM Dashboard の個人用設定とは、PPM Dashboard および PPM Dashboard のページに変更を加えることです。PPM Dashboard の個人用設定を行うには、次の方法があります。

- PPM Dashboard のページを追加する
- PPM Dashboard のページを移動、名前変更、削除する
- PPM Dashboard のページの更新間隔を設定する
- PPM Dashboard のページにポートレットを追加する
- PPM Dashboard のページ上のポートレットをコピー、移動する
- PPM Dashboard のページをプレビューする
- PPM Dashboard のページのグループを追加する

[ダッシュボードのパーソナライズ] ページを使用すると、PPM Dashboard の個人用設定を行うことができます。

図 2-14. PPM Dashboardのページの個人用設定



メニューバーの右側の領域には、現在使用されている PPM Dashboard のページが表示されます。PPM Dashboard のページは、次の主要カテゴリに分類できます。

- **非公開のページ**: ユーザが作成した PPM Dashboard のページです。
- **共有ページ**: アプリケーション管理者が作成し、ユーザに提供した PPM Dashboard のページです。

PPM Dashboard のページの追加

PPM Dashboard のページを追加する場合は、次のものを追加できます。

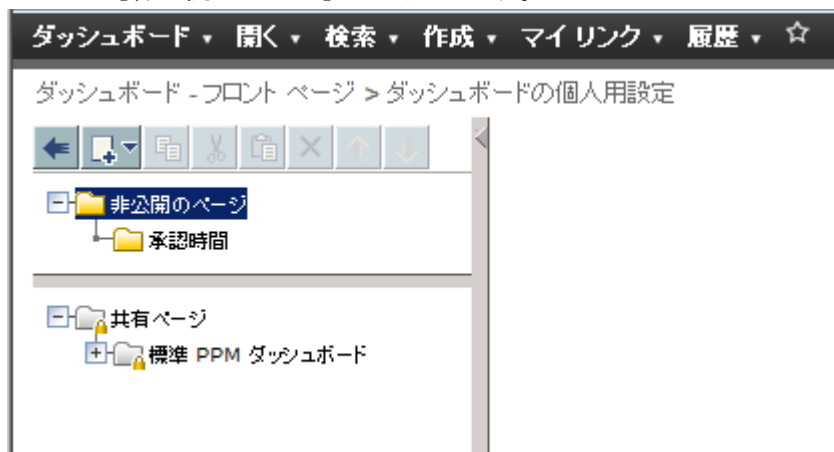
- 空白の PPM Dashboard のページ
- 事前設定済みの PPM Dashboard のページ

PPM Dashboard のページを追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、[**ダッシュボード**] > [**ダッシュボードのパーソナライズ**] を選択します。

[**ダッシュボードのパーソナライズ**] ページが開きます。

3. PPM Dashboard のページを追加します。
 - 空白の PPM Dashboard のページを追加するには、次の手順を実行します。
 - i. [**非公開のページ**] を選択します。



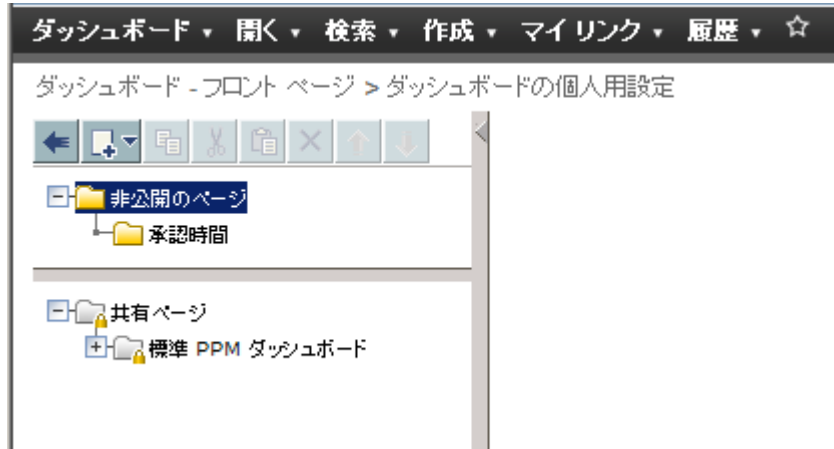
ii. [追加] アイコンをクリックします。

iii. [新規ページ] を選択します。

空白の PPM Dashboard のページが PPM Dashboard に追加されます。

- 事前設定済みの PPM Dashboard のページを追加するには、次の手順を実行します。

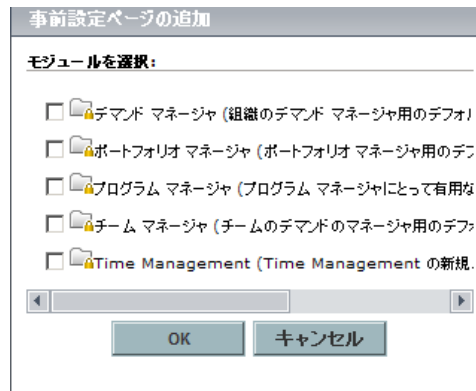
i. [非公開のページ] を選択します。



ii. [追加] アイコンをクリックします。

iii. [事前設定ページの追加] を選択します。

使用可能な事前設定済みの PPM Dashboard のページのリストが表示されます。



- iv. 1つまたは複数の事前設定済みのPPM Dashboardのページを選択し、**[OK]**をクリックします。選択したページがPPM Dashboardに追加されます。

PPM Dashboardに加えた変更は、自動的に保存されます。

PPM Dashboardのページのコピー、移動、削除

PPM Dashboardのページをコピー、移動、削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、**[ダッシュボード]** > **[ダッシュボードのパーソナライズ]**を選択します。

[ダッシュボードのパーソナライズ] ページが開きます。

3. コピー、移動、削除するPPM Dashboardのページを選択します。
4. PPM Dashboardのページをコピー、移動、削除します。
 - PPM Dashboardのページをコピーするには、**[コピー]** アイコンをクリックします。PPM Dashboardのページがコピーされます。
 - PPM Dashboardのページをリスト内で上下に移動するには、有効になっている**移動矢印**アイコンの1つをクリックします。PPM Dashboardのページが移動されます。
 - PPM Dashboardのページを削除するには、**削除**アイコンをクリックします。PPM Dashboardのページが削除されます。

PPM Dashboardに加えた変更は、自動的に保存されます。

PPM Dashboardのページの名前の変更

PPM Dashboardのページの名前を変更するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[ダッシュボード] > [ダッシュボードのパーソナライズ]を選択します。
3. 名前を変更するPPM Dashboardのページを選択します。

選択したPPM Dashboardのページが[編集]ページに表示されます。

4. [編集]ページの[ページの名前]フィールドに、PPM Dashboardのページの新しい名前を入力します。

ページの編集

注意: ページに加えられたすべての変更は自動的に保存されます プレビュー

ヘッダ

ページの名前:

このページを次の頻度で更新する: 毎 分

ポータル

ポータルの追加

コスト ベネフィット 分析 → ← ×

My Packages → ← ×

スタッフィング プロファイル リスト → ← ×

PPM Dashboardに加えた変更は、自動的に保存されます。

PPM Dashboardのページの更新間隔の設定

PPM Dashboardのページの更新間隔を設定するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[ダッシュボード] > [ダッシュボードのパーソナライズ]を選択します。
3. 設定するPPM Dashboardのページを選択します。

選択したPPM Dashboardのページが[編集]ページに表示されます。

4. [このページを次の頻度で更新する] フィールドで、チェックボックスを選択して分単位を入力します。

このフィールドに入力する数値は、整数でなければなりません。

PPM Dashboardに加えた変更は、自動的に保存されます。

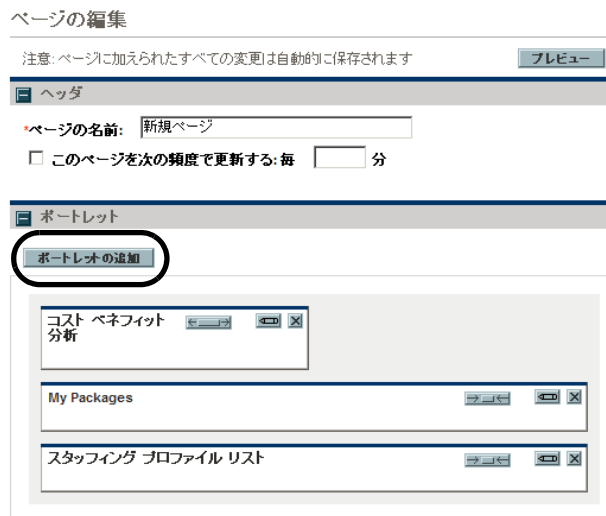
PPM Dashboardのページへのポートレットの追加

PPM Dashboardのページにポートレットを追加する方法は、2通りあります。

- [ダッシュボードのパーソナライズ] ページを使用する
- 個々のPPM Dashboardのページにある[ポートレットの追加]アイコンを使用する

ポートレットを追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. ポートレットの追加方法を選択します。
 - [ダッシュボードのパーソナライズ] ページ
 - i. メニューバーから、[ダッシュボード] > [ダッシュボードのパーソナライズ] を選択します。
 - ii. 設定するPPM Dashboardのページを選択します。
選択したPPM Dashboardのページが[編集]ページに表示されます。
 - iii. [編集] ページで[ポートレットの追加]をクリックします。



[ポートレットをダッシュボードページに追加]が開きます。

- PPM Dashboardのページからポートレットを直接追加するには、次の手順を実行します。
 - i. メニューバーから、[ダッシュボード] > [<ダッシュボードページ>]を選択します。
 - ii. [ポートレットの追加]アイコン (PPM Dashboardのページの右上隅)をクリックします。



[ポートレットの追加]が開きます。

3. 追加するポートレットを検索します。

- すべてのポートレットのリストを表示するには、[ポートレットを検索]をクリックします。[ポートレットの追加]ページに[追加するポートレットを選択]セクションが追加されます。[追加するポートレットを選択]セクションに、すべてのポートレットが一覧表示されます。
- 特定のポートレットを表示するには、次の手順を実行します。
 - i. [カテゴリ]で、リストからポートレットのカテゴリを選択します。
 - ii. [ポートレット名]フィールドに、ポートレット名の全体または一部を入力します。
 - iii. [ポートレットを検索]をクリックします。

[ポートレットをダッシュボードページに追加]に[追加するポートレットを選択]セクションが追加されます。[追加するポートレットを選択]セクションに、検索条件と一致するポートレットがすべて一覧表示されます。

4. [追加するポートレットの選択]セクションで、1つ以上のポートレットを選択して[追加]をクリックします。

選択したポートレットがPPM Dashboardのページに追加されます。PPM Dashboardに加えた変更は、自動的に保存されます。

PPM Dashboardのページ上でのポートレットの移動

PPM Dashboardのページ上でポートレットを移動させるには、ドラッグアンドドロップ操作またはコピーして張り付ける操作を行います。

ポートレットを移動させるには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[**ダッシュボード**] > [**ダッシュボードのパーソナライズ**] を選択します。
3. 設定するPPM Dashboardのページを選択します。

選択したPPM Dashboardのページが [**ダッシュボードのパーソナライズ**] ページに表示されます。

4. 移動させるポートレットを選択します。

そのポートレットが強調表示されます。

5. ポートレットを移動させます。

- PPM Dashboardの同じページ上でポートレットを移動させるには、ドラッグアンドドロップ操作を行います。ポートレットにカーソルを合わせたまま、新しい場所に移動します。
- PPM Dashboardの別のページにポートレットを移動させるには、コピーして貼り付ける操作を行います。メニューバーの右側の領域でポートレットを選択し、[**コピー**] アイコンをクリックします。次に、メニューバーの右側の領域で移動先ページを選択し、[**貼り付け**] アイコンをクリックします。

PPM Dashboardに加えた変更は、自動的に保存されます。

PPM Dashboardのページのプレビュー

個人用設定プロセスで、PPM Dashboardのページをプレビューできます。プレビューでは、PPM Dashboardのページとそのポートレットが通常使用時にどのように見えるかを、フィルタが設定どおりに動作する状態で確認できます。PPM Dashboardのページをプレビューするには、[**編集**] ページで [**プレビュー**] をクリックします。新しいウィンドウが開き、ポートレットが現在の設定どおりに表示されます。

グループを使用した作業

PPM Dashboard ページを分類しやすいように、グループにまとめることができます。グループの展開と折りたたみは、メニューバーで行うことができます。

新しいグループを PPM Dashboard のページのリストに追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、[**ダッシュボード**] > [**ダッシュボードのパーソナライズ**] を選択します。
3. [**非公開のページ**] を選択します。
4. [**追加**] アイコンをクリックします。
5. [**新規グループ**] を選択します。

新しいグループページが PPM Dashboard のページのリストに追加され、[**グループの編集**] ページが開きます。

6. [**グループ名**] フィールドに、新しいグループ名を入力します。

フィールド以外の場所をクリックすると、PPM Dashboard のページのリストに表示されているグループ名が自動的に更新されます。

7. 「**PPM Dashboard のページの追加**」(59 ページ)の説明に従って、グループに新しいページを追加します。



グループ内で PPM Dashboard のページを並べ替えたり、PPM Dashboard のページをコピーして別のグループに貼り付けたりすることができます。ただし、PPM Dashboard のページをグループ間でドラッグアンドドロップすることはできません。

ポートレットのパーソナライズ

ポートレットのパーソナライズとは、ポートレットに変更を加えることです。次のような操作が含まれます。

- ポートレットの削除
- ポートレットのサイズの変更
- ポートレットの内容と表示の設定

ポートレットの削除

PPM Dashboardのページからポートレットを削除する方法は、2通りあります。

- [ダッシュボードのパーソナライズ] ページを使用する
- 個々のPPM Dashboardのページのメニューバーで[削除]を使用する

[ダッシュボードのパーソナライズ] ページを使ってポートレットを削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[ダッシュボード] > [ダッシュボードのパーソナライズ] を選択します。
3. 設定するPPM Dashboardのページを選択し、[編集] アイコンをクリックします。

選択したPPM Dashboardのページが [ダッシュボードのパーソナライズ] ページに表示されます。

4. 削除するポートレット上で、[削除] アイコンをクリックします。

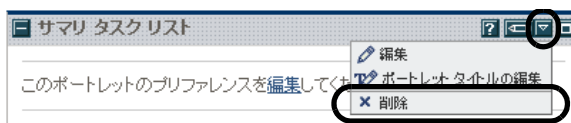


ポートレットが削除されます。

PPM Dashboardに加えた変更は、自動的に保存されます。

PPM Dashboardのページからポートレットを直接削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[ダッシュボード] > [<ダッシュボードのページ>] を選択します。
3. 削除するポートレット上で**プルダウン**アイコンをクリックし、メニューで[削除]をクリックします。



ポートレットが削除されます。

PPM Dashboardに加えた変更は、自動的に保存されます。

ポートレットのサイズの変更

ポートレットは次の2種類のサイズで表示されます。

- **広い**。1行に1つのポートレットが表示されます。
- **狭い**。1行に2つのポートレットが表示されます。

ポートレットの幅を変更するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[ダッシュボード] > [ダッシュボードのパーソナライズ] を選択します。
3. 設定する PPM Dashboard のページを選択し、[編集] アイコンをクリックします。

選択した PPM Dashboard のページが [ダッシュボードのパーソナライズ] ページに表示されます。

4. ポートレットのサイズを変更します。

- 幅の狭いポートレットで、**ポートレットの幅を設定するアイコン**をクリックします。



- 幅の広いポートレットで、**ポートレットの幅を設定するアイコン**をクリックします。



PPM Dashboardに加えた変更は、自動的に保存されます。

ポートレットの設定

データの内容とデータの表示の両方について、ポートレットを設定できます。ポートレットの編集ページを使用して、ビジネスニーズに最適なポートレットの個人用設定を行います。

ポートレットを設定するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログインします。
2. ポートレット上で、[編集]アイコンをクリックします。

ポートレットの編集ページが表示されます。

プリファレンスの編集: プロジェクトヘルスの円グラフ (プロジェクトヘルスの円グラフ)

プレビュー タイトルを変更

保存

プリファレンス

○ 特定プロジェクト:

◎ プロジェクト一致基準:

プロジェクト マネージャ:

ステータス:

終了したプロジェクトを含める

プロジェクト タイプ:

プログラム:

地域:

プロジェクトヘルス:

ヘルスなし

保存

3. ポートレットの個人用設定を行います。

各ポートレットは、それぞれ一意です。どのポートレットにもポートレット編集ページがありますが、ポートレットによっては、編集ページに次のセクションすべてが表示されない場合があります。たとえば、グラフポートレットには、[表示列の選択]セクションはありません。次に、ポートレットを個人用に設定するさまざまな方法を示します。

- **タイトル:** ポートレットの名前を変更できます。[**タイトルを変更**]をクリックすると、[ポートレットタイトルの変更] ページが開きます。また、PPM Dashboardのページのメニューから直接、[**ポートレットのタイトルの編集**]を選択することもできます。
- **プリファレンス:** 必要なデータを取得して表示するために使用するフィルタを設定できます。ビジネス要件に最適なフィルタを選択してください。
- **表示列の選択:** ポートレットにデータをどのように表示するかを設定できます。[**利用できる列**] フィールドには、表示できるカラムがすべて一覧表示されます。[**表示列**] フィールドには、ポートレットの通常ビューに表示されるものとして既に選択済みのカラムがすべて一覧表示されます。[**追加列 最大ビューに表示**] フィールドには、ポートレットの最大ビューに表示される追加のカラムが一覧表示されます。フィールド間でエントリを移動するには、エントリを選択し、有効になっている**移動矢印**アイコンの1つをクリックします。
- **表示オプション:** データをどのように表示するかを設定できます。ビジネス要件に最適なオプションを選択してください。
- **データの整理:** データをどのように表示するかを設定できます。ビジネス要件に最適なオプションを選択してください。

4. ポートレットの編集ページで [**完了**] をクリックします。

ポートレットに加えた変更が保存されます。

ポートレットに対するクエリビルダの使用

リクエストに関連するポートレットにはクエリビルダがあります。クエリビルダでは、ブール演算子を使ってリクエストタイプの中で詳細な検索クエリを作成できます。

たとえば、[**説明**] に「リリースノート」という単語が含まれ、[**優先度**] が[**重大**] になっているすべての機能拡張リクエストを検索できます。

クエリビルダの詳細については、「**カスタマイズ検索の定義**」(26 ページ)を参照してください。

3 PPM Workbenchの使用

PPM Workbenchの起動と終了

PPM CenterからPPM Workbenchにアクセスするには、メニューバーか、デスクトップに作成したショートカットを使用します。



Webブラウザでポップアップブロックやダウンロードブロックが有効になっている場合は、PPM Workbenchをうまく起動できないことがあります。

PPM CenterからのPPM Workbenchの起動

PPM CenterからPPM Workbenchを起動するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[開く] > [管理] > [Workbenchを開く] をクリックします。

PPM Workbench ウィンドウが開きますセキュリティ警告ウィンドウが表示されたら、[はい] をクリックします。

PPM Workbenchが起動します。

デスクトップからのPPM Workbenchの起動 (初期インストール時)

デスクトップからPPM Workbenchを(初めて)起動するには、次の手順を実行します。

1. デスクトップショートカットと [スタート] メニューショートカットを作成します。
 - a. PPM Centerにログオンします。

- b. メニューバーから、**[開く]** > **[管理]** > **[デスクトップのWorkbenchを開く]** を選択します。
- c. 要求に応じて **[はい]** をクリックし、PPM Workbenchへのショートカットを作成します。ショートカットを既に作成してある場合、**手順2**に進みます。



デスクトップから PPM Workbench を削除するには、システムの標準の **[プログラムの追加と削除]** ユーティリティを使用します。

2. ユーザ名とパスワードを該当するフィールドに入力します。
3. **[ログオン]** をクリックします。

PPM Workbench が起動します。

デスクトップからの PPM Workbench の起動

デスクトップから PPM Workbench を起動するには、次の手順を実行します。

1. **[HP Project and Portfolio Management]** デスクトップアイコンをダブルクリックするか、**[スタート]** > **[プログラム]** > **[HP]** > **[HP Project and Portfolio Management]** を選択します。

PPM Workbench が起動します。

PPM Workbench の終了

PPM Workbench を終了するには、次の手順を実行します。

1. PPM Workbench メニューから、**[ファイル]** > **[終了]** を選択します。

PPM Workbench が終了します。

エンティティの検索

PPM Workbench では、標準設定の設定エンティティの Workbench ウィンドウが表示されます。設定エンティティの Workbench ウィンドウでは、特定のエンティティ (機能拡張リクエストタイプなど) を検索できます。エンティティを検索するには、[クエリ] タブで任意の組み合わせのフィールドに条件を入力し、[リスト] をクリックします。検索条件に一致するすべてのエンティティが [結果] タブに一覧表示されます。フィルタフィールドを無視して単に [リスト] をクリックすることもできます。その場合は、すべてのエンティティの一覧が返されて PPM Workbench ウィンドウに表示されます。

保存クエリ

保存クエリ機能を使って、よく実行するクエリを保存して再実行できます。保存したクエリは、その保存クエリを作成した設定エンティティの Workbench ウィンドウでのみ使用できます。たとえば、リクエストタイプの Workbench ウィンドウの保存クエリを、ユーザデータの Workbench ウィンドウで使用することはできません。

保存クエリの作成

保存クエリを作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Workbench を起動します。
2. 設定エンティティの Workbench ウィンドウを選択します。

設定エンティティの Workbench ウィンドウで [クエリ] タブが表示されます。

3. [クエリ] タブで検索条件を入力し、[クエリの保存] を選択します。

[クエリの保存] ウィンドウが開きます。

4. [クエリの保存] ウィンドウで [クエリ名] フィールドに一意のクエリ名を入力し、[保存] をクリックします。

クエリが保存されます。

保存クエリの使用

保存クエリを使用するには、次の手順を実行します。

1. PPM Workbenchを起動します。
2. 設定エンティティのWorkbenchウィンドウを選択します。
設定エンティティのWorkbenchウィンドウで**[クエリ]**タブが表示されます。
3. **[クエリ]**タブの**[クエリ]**フィールドから保存クエリ名を選択し、**[リスト]**をクリックします。
保存した検索クエリのパラメータを使ってクエリが実行されます。

保存クエリの削除

保存クエリを削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Workbenchを起動します。
2. 設定エンティティのWorkbenchウィンドウを選択します。
設定エンティティのWorkbenchウィンドウで**[クエリ]**タブが表示されます。
3. **[クエリ]**タブの**[クエリ]**フィールドから保存クエリ名を選択します。
選択した保存クエリが強調表示されます。
4. PPM Workbenchメニューから、**[ファイル]** > **[<クエリ>の削除]**を選択します (<クエリ>は削除するクエリの名前です)。
[質問] ダイアログボックスが開きます。
5. [質問] ダイアログボックスで、**[はい]**をクリックします。
選択した保存クエリが削除されます。

大文字小文字の区別とワイルドカードの使用

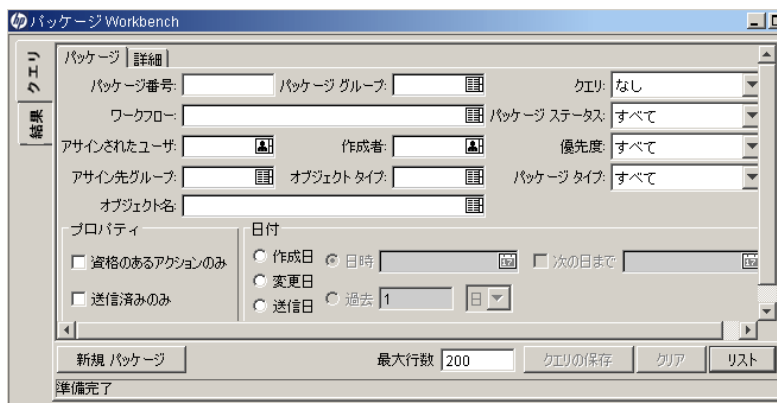
フィルタフィールドでは、大文字と小文字は区別されません。たとえば、フィルタフィールドに「test」という単語を入力すると、**test**、**TEST**、**Test**が返されます。フィルタフィールドでは、部分一致も返されます。たとえば、フィルタフィールドに「test」という単語を入力した場合は、**Test Project**や**Testing Project**なども返されます。

フィルタフィールドには、ワイルドカード文字「%」も入力できます。この文字は任意の文字と一致します。たとえば、フィルタフィールドに「%ample」と入力すると、**Example**や**Sample**などが返されます。一方、フィルタフィールドでワイルドカード文字を使用せず、検索文字列として「ample」と入力すると、**Example**や**Sample**といった単語は検索結果から除外されます。

高度なクエリ

パッケージのWorkbenchウィンドウの[クエリ]タブには、[詳細]タブがあります。このタブで、パッケージに関する複雑な検索条件を入力できます(図 3-1を参照)。

図 3-1. パッケージのWorkbenchウィンドウ

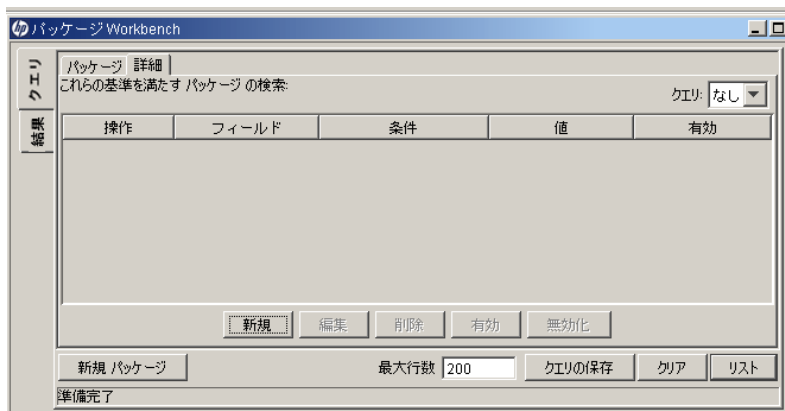


高度なクエリ条件を入力するには、次の手順を実行します。

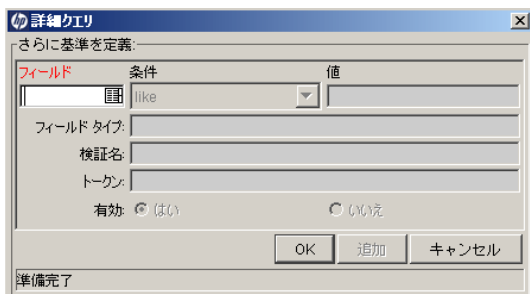
1. PPM Workbenchを起動します。
2. パッケージのWorkbenchウィンドウを選択します。

パッケージのWorkbenchウィンドウで[クエリ]タブが表示されます。[クエリ]タブの[パッケージ]タブが表示されます。

3. [パッケージ] タブで検索条件を入力し、[詳細] タブをクリックします。
[詳細] タブが開きます。



4. [詳細] タブで、[新規] をクリックします。
[詳細クエリ] ウィンドウが開きます。

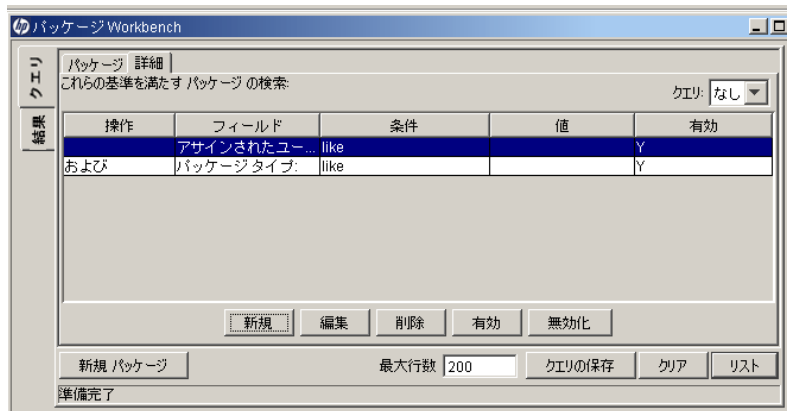


5. [詳細クエリ] ウィンドウでフィルタフィールドに入力し、[追加] をクリックします。

条件の一覧については、表 3-2を参照してください。高度なクエリのロジックがクエリに追加されます。

図 3-2. ブール演算子

条件	説明
Like	選択したフィールドの内容と類似する値を探します。
Not like	[値] フィールドに類似しない、選択したフィールドの内容を探します。
次の値と等しい	選択したフィールドの内容と完全に一致する値を探します。
次の値と等しくない	選択したフィールドの内容と値が完全に一致しないすべての結果を返します。
はnull	選択したフィールドが空白であるインスタンスをすべて返します。
はnullではありません	選択したフィールドが空白ではないインスタンスをすべて返します。
次の値より大きい	[値] フィールドに入力された値より大きい数値を探します。
次の値未満	[値] フィールドに入力された値より小さい数値を探します。
次の値以上	[値] フィールドに入力された値以上の数値を探します。
次の値以下	[値] フィールドに入力された値以下の数値を探します。



6. [詳細] タブで、[リスト] をクリックします。

検索が開始されます。PPM Centerで検索が実行されるときに、[パッケージ] タブで指定した条件が使用されます。その後、[詳細] タブで指定された検索条件を使って、すべての結果がフィルタされます。すべてのフィルタフィールドに一致するパッケージだけが [結果] タブに表示されます。一致するものが返されなかった場合は、一部の検索条件を無効にしたり削除することによって、制限を低くすることができます。

設定エンティティの選択

[結果] タブには、検索条件に一致する設定エンティティがすべて表示されます。利用可能な任意のフィールドのカラムヘッダをクリックすると、そのフィールドに基づいて結果をソートできます。[結果] タブで、返された設定エンティティ (または設定エンティティの範囲) を選択すると、その設定エンティティの表示、コピー、変更ができます (図 3-3を参照)。

図 3-3. [結果] タブ

パッケージ...	説明	ワークフロー	パッケージグ...	パッケージス...
30021	Patch v4 migration test	開発 > テスト > 本番		新規
30007	Patch v3 migration test	開発 > テスト > 本番		新規
30018	ERP Patch v4.5.4.7 Migration Test	開発 > テスト > 本番		新規
30024		開発 > テスト > 本番		新規
30017	Patch v4a migration test	開発 > テスト > 本番		新規
30020	Patch v3 migration test	開発 > テスト > 本番		新規
30019	Upgrade to patch 4.5.4.7	開発 > テスト > 本番		新規
30015	Test package.	開発 > テスト > 本番		新規
30022	test entry for displaying WORK ITEM ...	開発 > テスト > 本番	アップグレード	新規
30023	test entry for displaying WORK ITEM ...	開発 > テスト > 本番		新規

13 件のレコードが読み込まれました。

連続した設定エンティティのグループを選択するには、次の手順を実行します。

1. PPM Workbench を起動します。
2. 設定エンティティの Workbench ウィンドウを選択します。
3. [クエリ] タブで検索条件を入力し、[リスト] を選択します。

[結果] タブに結果が表示されます。

4. **[結果]** タブで、1つのエンティティを選択します。

エンティティが強調表示されます。

5. **[Shift]** キーを押しながら別のエンティティを選択します。

選択した2つのエンティティの間にあるエンティティがすべて強調表示されます。

6. **[開く]** または **[削除]** をクリックします。

強調表示されたすべてのエンティティが開かれるか削除されます。

複数の別々のエンティティを選択するには、次の手順を実行します。

1. PPM Workbench を起動します。

2. 設定エンティティの **Workbench** ウィンドウを選択します。

3. **[クエリ]** タブで検索条件を入力し、**[リスト]** を選択します。

[結果] タブに結果が表示されます。

4. **[結果]** タブで、1つのエンティティを選択します。

そのエンティティが強調表示されます。

5. **[Ctrl]** キーを押しながら別のエンティティを選択します。

選択したエンティティが両方とも強調表示されます。

6. **[開く]** または **[削除]** をクリックします。

強調表示されたエンティティが両方とも開かれるか削除されます。

[結果] タブには、ほかの一般的なタスクを実行するためのボタンもあります。**新規**のエンティティを作成したり、既存のエンティティを**開く**、**コピー**、**削除**したりするといった操作のほか、クエリの再実行(**[リフレッシュ]**)が可能です。

エンティティを開く、削除、コピー

エンティティを開く、削除、コピーといった操作を行うには、次の手順を実行します。

1. PPM Workbench を起動します。
2. 設定エンティティの Workbench ウィンドウを選択します。
3. [クエリ] タブで検索条件を入力し、[リスト] を選択します。
[結果] タブに結果が表示されます。
4. [結果] タブで、エンティティを選択します。
そのエンティティが強調表示されます。
5. そのエンティティを開くか、削除またはコピーします。
 - エンティティを開くには、[結果] タブで [開く] をクリックします。
 - エンティティを削除するには、[結果] タブで [削除] をクリックします。エンティティを本当に削除するかどうかを尋ねる質問ダイアログボックスが開きます。
 - エンティティをコピーするには、[結果] タブで [コピー] をクリックします。新しい(コピーした)エンティティの名前の入力を求めるコピーダイアログウィンドウが開きます。

新規エンティティの作成

新しいエンティティを作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Workbench を起動します。
2. 設定エンティティの Workbench ウィンドウを選択します。
3. [クエリ] タブで [新規 <エンティティタイプ>] をクリックします (<エンティティタイプ> は新規パッケージなどのエンティティのタイプです)。
エンティティの詳細ウィンドウが開きます。
4. 詳細ウィンドウで、各フィールドに必要な情報を入力し、[OK] をクリックします。
エンティティが作成されます。

PPM Workbench ウィンドウのナビゲート

PPM Workbench では、設定エンティティの Workbench ウィンドウに移動するために、通常はショートカットバーを使用します。PPM Workbench メニューの [**ナビゲート**] メニューを使用して、PPM Workbench 内を移動することもできます。

PPM Workbench の各ウィンドウにある [**クエリ**] タブを使用して、その PPM Workbench ウィンドウに関連付けられているエンティティを PPM Center で検索できます。[クエリ] タブでの検索の結果は、PPM Workbench ウィンドウの [**結果**] タブに一覧表示されます。

複数の詳細ウィンドウが開いている場合、PPM Workbench の下部にあるボタンを使って、個々の詳細ウィンドウにアクセスできます。詳細ウィンドウや PPM Workbench ウィンドウを最小化した場合、PPM Workbench の下部で該当するボタンをクリックして、そのウィンドウを表示できます。

4 次のステップ

本書の終了後

本書では、PPM CenterのWebページとPPM Workbenchの概要について説明しました。

PPM Centerのメニューバーから[開く]>[製品情報]>[ライブラリ]を選択して、PPM Centerのドキュメントライブラリにアクセスできます。PPM Centerを最初にインストールした時点では、ドキュメントライブラリには次のカテゴリに分類されたPDF文書リストがあります。

- 一般情報
- システム管理ガイド
- ユーザーズガイド
- 設定ガイド
- 補足情報
- 一般ガイドとリファレンスマニュアル

PPM Centerに関する文書のすべてのトピックをまとめたMaster Indexを用意しています。詳細については、文書ライブラリページで推奨する一般ガイドの[PDF]をクリックしてください。



システム管理者はドキュメントライブラリをカスタマイズして、組織に関連する文書のみが表示されるようにすることができます。

索引

M

Microsoft Excel

- エクスポート時の例外事項, **54**
- ポートレットのデータをエクスポート,
53

P

PDF

- ダッシュボードのページをエクスポート,
56

PPM Center

- ログオフ, **22**
- ログオン, **20**

W

Workbench

- PPM Center から起動, **73**
- ウィンドウ, **15**
- エンティティの検索, **75**
- エンティティのコピー, **82**
- エンティティの削除, **82**
- エンティティの作成, **82**
- エンティティの選択, **80**
- エンティティを開く, **82**
- 起動, **73**
- クエリの削除, **76**
- クエリの作成, **75**
- クエリの使用, **76**
- 高度なクエリ, **77**

- 終了, **73, 74**
- ショートカットバー, **15**
- 定義, **9, 15**
- デスクトップから起動, **73, 74**
- ナビゲート, **83**
- メニュー, **15**

い

移動

- ダッシュボードのページ, **61**
- ポートレット, **66**
- 保存済み検索, **32**
- 保存済み検索のカテゴリ, **34**

え

エクスポート

- Microsoft Excel, **44**
- Microsoft Excel での例外事項, **54**
- Microsoft Project, **44**
- ダッシュボードのページを PDF にエクスポート, **56**
- ポートレットから Microsoft Excel へエクスポート, **53**
- ポートレットのデータ, **53**

エンティティ

- PPM Center での検索, **26**
- PPM Center での作成, **23**
- Workbench での検索, **75**
- Workbench でのコピー, **82**

Workbench での削除, **82**
Workbench での作成, **82**
Workbench での選択, **80**
Workbench で開く, **82**
定義, **23**

か

概要ページセクションプリファレンス, **42**

管理

保存済み検索, **31**
保存済み検索のカテゴリ, **33**

き

起動

PPM Center から Workbench を起動, **73**
Workbench, **73**
デスクトップから Workbench を起動, **73**,
74

共有のダッシュボードのページ, **13**

く

空白のダッシュボードのページ, **13**

クエリ

Workbench での削除, **76**
Workbench での作成, **75**
Workbench での使用, **76**
大文字小文字の区別, **77**
高度な Workbench クエリ, **77**
ブール演算子, **79**
保存, **75**
ワイルドカード文字, **77**

クエリビルダ, **26**

ポートレット, **72**

グラフポートレット, **13**

グループ

ダッシュボードのページ, **67**

け

警告メッセージ表示
再アクティブ化, **41**

[結果] タブ, **80**

検索

PPM Center のエンティティ, **26**
Workbench でのクエリの削除, **76**
Workbench でのクエリの作成, **75**
Workbench でのクエリの使用, **76**
Workbench のエンティティ, **75**
カスタマイズ, **26**
クエリビルダの使用, **26**
結果, **80**
検索の実行, **26**
高度な Workbench クエリ, **77**
保存, **29**
保存済み検索の移動, **32**
保存済み検索のカテゴリの移動, **34**
保存済み検索のカテゴリの管理, **33**
保存済み検索のカテゴリの削除, **34**
保存済み検索のカテゴリの作成, **33**
保存済み検索の管理, **31**
保存済み検索の削除, **32**
保存済み検索の作成, **29**
保存済み検索の実行, **31**
リクエストタイプ別, **35**
リクエストブラウザの使用, **35**

こ

更新間隔
設定, **63**

高度な Workbench クエリ, **77**

コスト表示
変更, **43**

コピー

Workbench のエンティティ, **82**
ダッシュボードのページ, **61**
ポートレット, **66**

コメント
モジュールでの表示, **57**

さ

再アクティブ化
警告メッセージ表示, **41**

最小化
ポートレットビュー, **46**

最大化
ポートレットビュー, **46**

サインアウト
ログオフを参照

作業計画ページ
プリファレンスの変更, **43**

削除
Workbench のエンティティ, **82**
Workbench のクエリ, **76**
ダッシュボードのページ, **61**
ポートレット, **68**
保存済み検索, **32**
保存済み検索のカテゴリ, **34**

作成
PPM Center のエンティティ, **23**
Workbench のエンティティ, **82**
Workbench のクエリ, **75**
保存済み検索, **29**
保存済み検索のカテゴリ, **33**

し

実行
新規レポート, **38**
保存済み検索, **31**

終了
Workbench, **73, 74**

使用
Workbench クエリ, **76**
クエリビルダ, **26**
リクエストブラウザ, **35**

消去可能なメッセージダイアログ, **41**

ショートカットバー
Workbench, **15**

す

数字表示
変更, **44**

せ

製品情報メニュー, **16**

設定
警告メッセージ表示, **71**
更新間隔, **63**
コスト表示, **43**
作業計画ページ, **43**
ダッシュボード, **57**
地域, **44**
パスワードの変更, **40**
ポートレット, **71**
ポートレットの最大ビュー, **42**

設定エンティティの Workbench ウィンドウ,
15, 75

選択
Workbench のエンティティ, **80**

そ

送信
レポート, **38**

ソート
ソートカラムの選択, **48**
リストポートレットのデータ, **49**

た

ダッシュボード
設定, **57**
定義, **9, 11**
パーソナライズ, **57**

ダッシュボードのページ

PDF へのエクスポート, **56**

移動, **61**

共有, **13**

空白, **13**

空白ページの追加, **59**

グループ, **67**

グループの追加, **67**

更新間隔の設定, **63**

コピー, **61**

削除, **61**

事前設定済みのページの追加, **60**

循環, **55**

すべて表示, **55**

追加, **59**

定義, **11**

デフォルト, **12**

名前の変更, **62**

非公開, **12**

開く, **45**

プレビュー, **66**

ページの切り替え, **45**

ポートレットの追加, **64**

ち

地域設定, **44**

つ

追加

空白のダッシュボードのページ, **59**

現在のダッシュボードのページを [マイ
リンク] リストに追加, **52**

事前設定済みのダッシュボードのページ,
60

ダッシュボードのページ, **59**

ダッシュボードのページグループ, **67**

ポートレット, **64**

通貨表示

変更, **44**

て

データ

ソートカラムの選択, **48**

フィルタ, **72**

リストポートレットでのソート, **49**

リストポートレットでの並べ替え, **48**

デフォルトのダッシュボードのページ, **12**

と

ドリルダウンページ

ポートレット, **50**

な

ナビゲーションパス, **11**

ナビゲート

Workbench, **83**

名前の変更

ダッシュボードのページ, **62**

ポートレット, **72**

に

日時表示

変更, **44**

は

バージョン

表示, **17**

パーソナライズ

ダッシュボード, **57**

ポートレット, **68**

パス

ナビゲーション, **11**

パスワード

変更, **40**

ひ

非公開のダッシュボードのページ, **12**

表示

- 既存のレポート, **39**
- 製品情報, **16**
- ダッシュボードのページのプレビュー, **66**
- ダッシュボードのページを自動で表示, **55**
- バージョン, **17**
- 文書, **16**
- モジュールコメント, **57**
- ユーザアクセス情報, **17**

表示オプション

- ポートレット, **72**

標準ユーザインタフェース

- 定義, **10**

表示列の選択

- ポートレット, **14, 72**

開く

- Workbench のエンティティ, **82**
- 既存のレポート, **39**
- ダッシュボードのページ, **45**

ふ

フィルタ

- ポートレットのデータ, **72**

ブール演算子

- クエリ, **79**

プリファレンス

- ポートレット, **14**

プレビュー

- ダッシュボードのページ, **66**

文書ライブラリ, **16**

へ

ページの切り替え, **45**

変更

- 警告メッセージ表示, **41**
- コスト表示, **43**

作業計画ページ, **43**

数字表示, **44**

通貨表示, **44**

日時表示

変更

inaÈè>È, **44**

パスワード, **40**

ポートレットのサイズ, **69**

ポートレットの最大ビュー, **42**

ポートレットビュー, **46**

ポートレット名, **72**

ロケール, **44**

ほ

ポートレット, **13**

Microsoft Excel にエクスポート, **53**

移動, **66**

クエリビルダの使用, **72**

グラフタイプ, **13**

コピー, **66**

コピーして貼り付け, **66**

最小ビュー, **46**

サイズ, **69**

サイズの変更, **69**

最大化ビュー, **46**

最大ビューの設定, **42**

削除, **68**

設定, **71**

狭い, **69**

ソートカラムの選択, **48**

ダッシュボードのページへの追加, **64**

通常ビュー, **46**

データのエクスポート, **53**

データのフィルタ, **72**

ドラッグアンドドロップ, **66**

ドリルダウン, **50**

名前の変更, **72**

パーソナライズ, **68**

幅の変更, **69**

表示オプション, **72**
標準設定ビュー, **46**
表示列の選択, **14**
広い, **69**
プリファレンス, **14**
編集ページ, **14**
ポートレットビューの変更, **46**
リストタイプ, **13**
リストポートレットのデータのソート,
49
リストポートレットのデータの並べ替え,
48

保守
[マイリンク] リスト, **52**

保存
クエリ, **75**
検索, **29**
保存クエリ, **75**
高度, **77**
削除, **76**
作成, **75**
使用, **76**

保存済み検索
移動, **32**
カテゴリ, **33**
カテゴリの移動, **34**
カテゴリの管理, **33**
カテゴリの削除, **34**
カテゴリの作成, **33**
管理, **31**
削除, **32**
作成, **29**
実行, **31**

ま
[マイリンク] リスト
現在のダッシュボードのページの追加,
52
保守, **52**

め
メニュー
Workbench, **15**

メニューバー, **23**
定義, **11**

も
モジュール
コメントの表示, **57**

ゆ
ユーザアクセス情報
表示, **17**

よ
要件
ログオン, **19**

り
リクエストブラウザ, **35**
リストポートレット, **13**

れ
レポート
既存のレポートの表示, **39**
既存のレポートを開く, **39**
新規レポートの実行, **38**
送信, **38**

ろ
ログオフ
PPM Center, **22**
ログオン
PPM Center, **20**
要件, **19**
ログオンを記憶する, **20**

[ログオンを記憶する] チェックボックス,
20

ロケール
変更, **44**

わ

ワイルドカード文字
クエリ, **77**

